

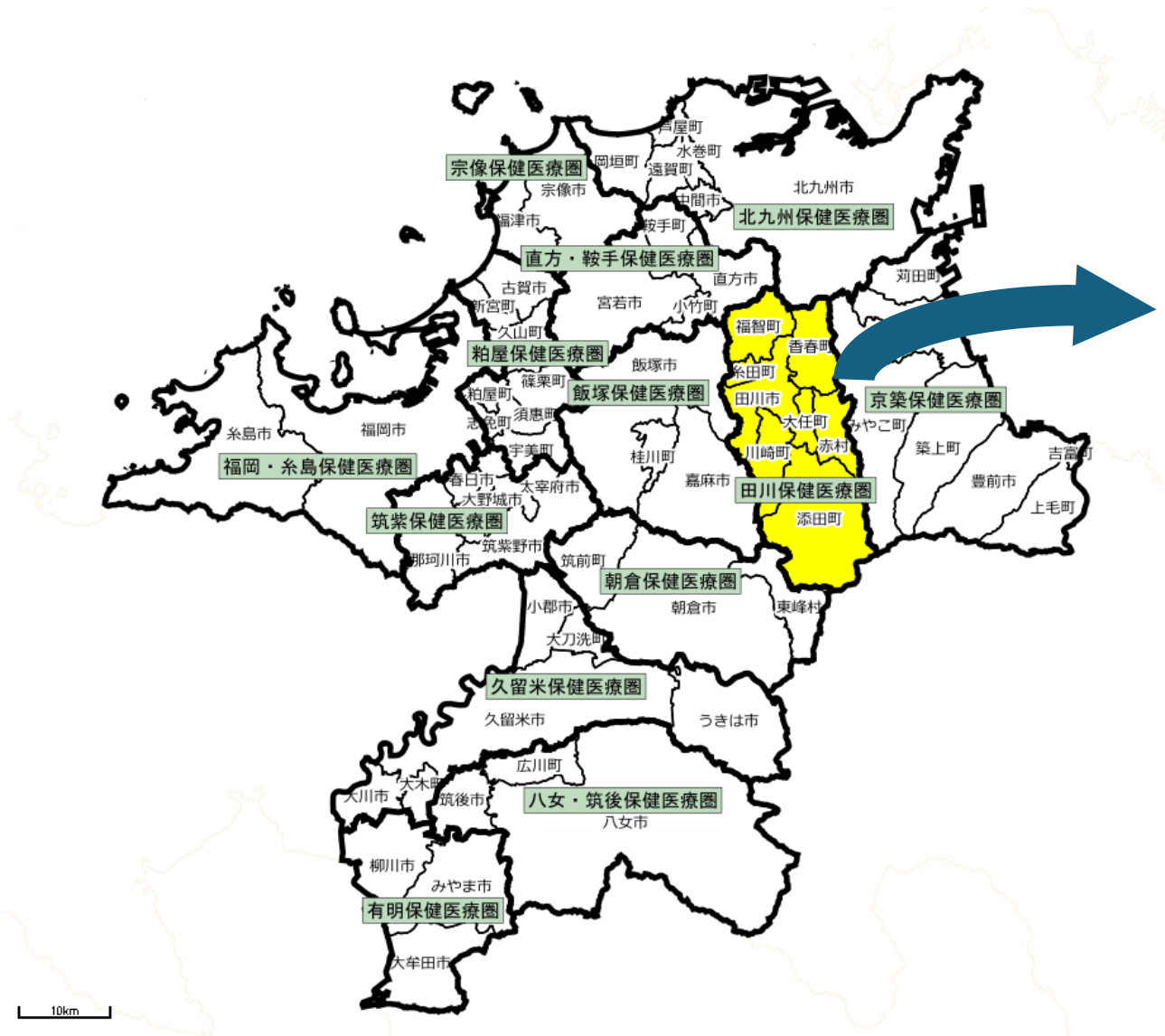
# 地区診断

—田川区域—

# 目次

1	概要	3
2	人口の状況	4
3	出生率の状況	9
4	死亡率の状況	10
5	将来推計人口の推移	11
6	市町村別将来推計人口の推移	15
7	SCRの状況	17
8	患者推計	22
9	医療従事者数〔医師〕	24
10	医療従事者数〔医師・診療科〕	26
11	医療従事者数〔常勤医師〕	28
12	医療介護資源の状況	31
13	医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕	33
14	在宅医療の状況	38
15	看護職員の状況	43
16	二次医療圏の人口及び流入流出患者割合・比較表	45
17	二次救急及び急患センターの位置（隣接区域含む）	46
18	人口メッシュ（500m）	47
19	救急搬送の状況	48
20	救急医療電話相談利用件数	53
21	MDC別割合	54

# 1. 概要



構成市町村:1市6町1村  
(田川市、香春町、添田町、糸田町、川崎町、大任町、赤村、福智町)

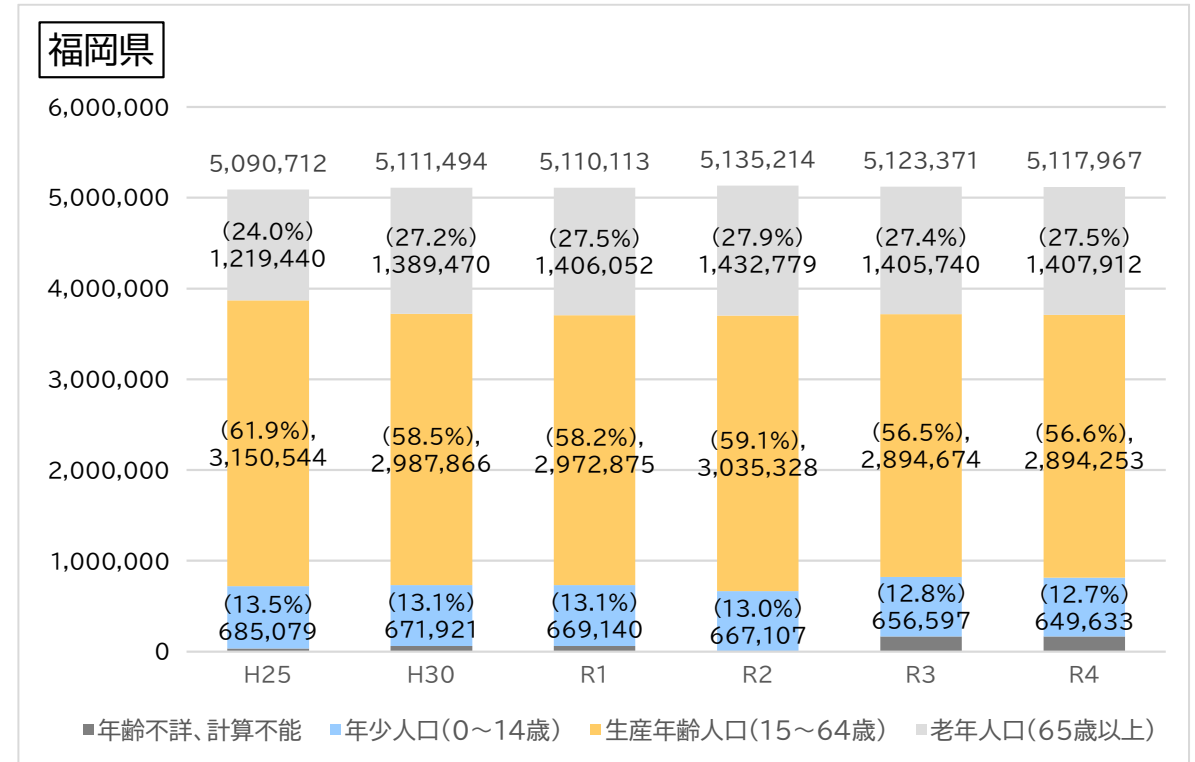
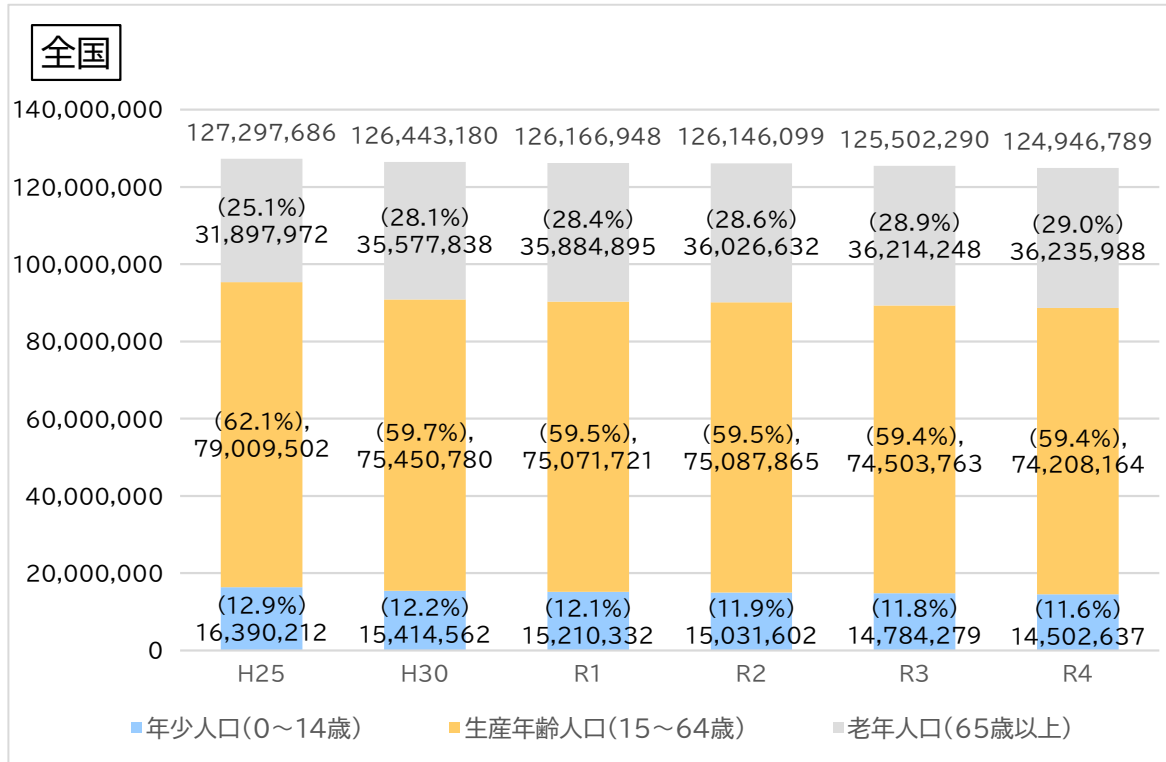
面積:363.73km<sup>2</sup>

人口:117,958人(令和2年国勢調査)  
〔うち年少人口(0~14):14,398人(12.2%)〕  
〔うち生産年齢人口(15~64):58,479人(49.6%)〕  
〔うち老年人口(65~):44,383人(37.6%)〕

出生数:680人(令和4年福岡県保健統計年報)  
(人口千対:6.0)※ 県平均7.1

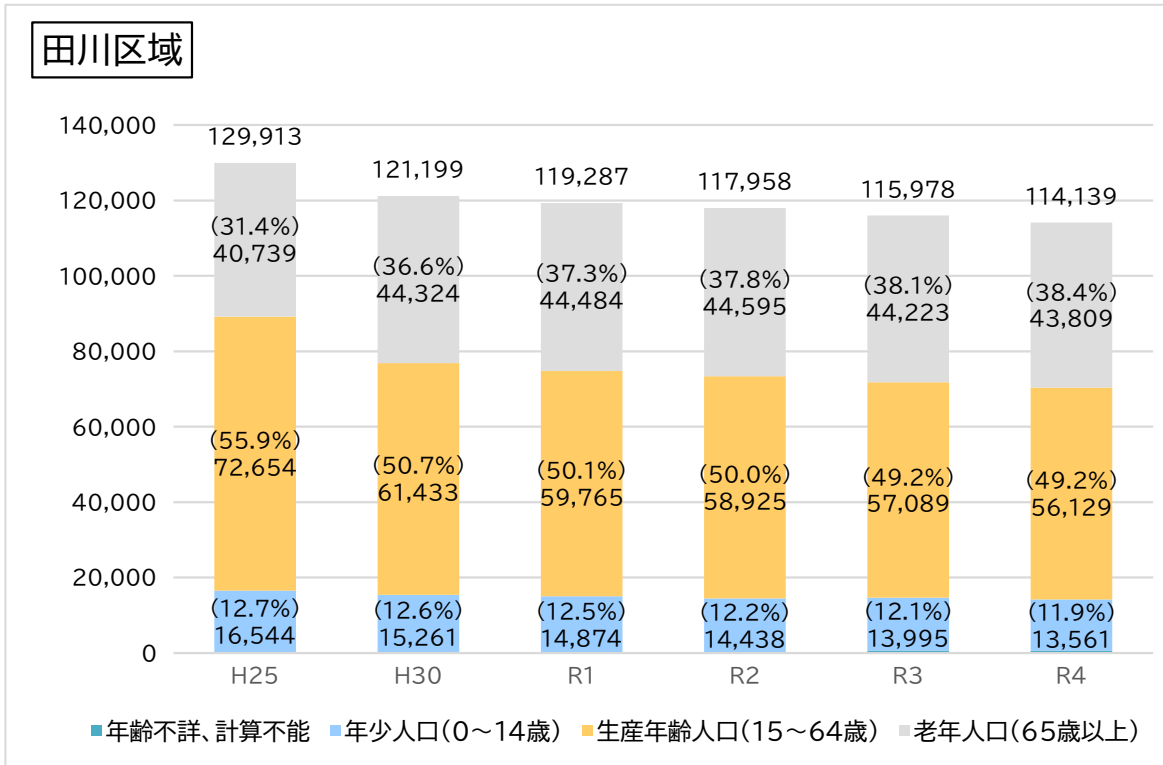
死亡数:2,290人(令和4年福岡県保健統計年報)  
(人口千対:20.2)※ 県平均12.2

## 2. 人口の状況 (「福岡県の人口・年齢3区分別(各年10月1日現在)」)



- ・総人口について、全国は減少傾向であり、福岡県は令和2年をピークに減少していく見込み
- ・年齢3区分別人口の推移を見ると、全国、福岡県ともに、老年人口の割合は増加傾向で、生産年齢人口、年少人口は、減少傾向となっている
- ・老年人口の割合は、H25年からR4年までで、全国で3.9ポイント増加し、福岡県では、3.5ポイント増加している

## 2. 人口の状況 (「福岡県の人口・年齢3区分別(各年10月1日現在)」)



・総人口については、減少傾向

・年齢3区分別人口の推移を見ると、老年人口の割合は増加傾向で、生産年齢人口、年少人口は、減少傾向となっている

・老年人口の割合は、30%を大きく超えており、H25年度からR4年度までで、7.0ポイント増加している

・R4年度の各市町の状況を見ると(スライド6参照)、老年人口の割合が45%を超えている添田町、40%台の香春町、赤村などの町村もあり、田川区域では高齢化が進んでいる

## 2. 人口の状況 (「福岡県の人口・年齢3区分別(各年10月1日現在)」)

### ●田川区域の各市町村の状況

	H25				H30				R1				R2				R3				R4			
	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数
田川市	6,449 (13.0%)	28,066 (56.7%)	14,939 (30.2%)	49,494	6,070 (12.8%)	25,019 (52.9%)	16,051 (34.0%)	47,262	5,920 (12.7%)	24,504 (52.6%)	16,066 (34.5%)	46,611	5,751 (12.4%)	24,317 (52.6%)	16,135 (34.9%)	46,203	5,600 (12.3%)	23,535 (51.5%)	15,860 (34.7%)	45,655	5,441 (12.0%)	23,333 (51.6%)	15,757 (34.9%)	45,188
香春町	1,311 (11.7%)	6,030 (53.9%)	3,855 (34.5%)	11,181	1,162 (11.3%)	4,857 (47.4%)	4,201 (41.0%)	10,257	1,127 (11.2%)	4,726 (46.8%)	4,214 (41.7%)	10,099	1,135 (11.1%)	4,807 (47.2%)	4,249 (41.7%)	10,191	1,125 (11.2%)	4,678 (46.6%)	4,227 (42.1%)	10,049	1,123 (11.4%)	4,548 (46.1%)	4,177 (42.4%)	9,862
添田町	1,113 (10.8%)	5,429 (52.6%)	3,784 (36.7%)	10,320	968 (10.4%)	4,416 (47.5%)	3,927 (42.2%)	9,304	924 (10.2%)	4,229 (46.7%)	3,904 (43.1%)	9,049	856 (9.7%)	4,018 (45.7%)	3,927 (44.6%)	8,801	810 (9.5%)	3,806 (44.8%)	3,889 (45.7%)	8,504	768 (9.3%)	3,660 (44.3%)	3,840 (46.5%)	8,264
糸田町	1,209 (13.0%)	5,146 (55.4%)	2,941 (31.7%)	9,285	1,198 (13.7%)	4,269 (49.0%)	3,249 (37.3%)	8,716	1,187 (13.8%)	4,158 (48.4%)	3,253 (37.8%)	8,598	1,135 (13.5%)	4,056 (48.2%)	3,216 (38.3%)	8,407	1,113 (13.4%)	3,940 (47.6%)	3,222 (38.9%)	8,276	1,050 (13.0%)	3,870 (47.8%)	3,179 (39.2%)	8,100
川崎町	2,288 (13.2%)	9,651 (55.9%)	5,351 (31.0%)	17,279	1,948 (12.4%)	7,869 (50.1%)	5,875 (37.4%)	15,698	1,856 (12.1%)	7,606 (49.5%)	5,906 (38.4%)	15,370	1,787 (11.8%)	7,457 (49.1%)	5,932 (39.1%)	15,176	1,705 (11.4%)	7,252 (48.7%)	5,938 (39.9%)	14,891	1,668 (11.4%)	7,114 (48.7%)	5,833 (39.9%)	14,609
大任町	676 (12.7%)	2,993 (56.3%)	1,648 (31.0%)	5,315	674 (13.3%)	2,465 (48.6%)	1,928 (38.0%)	5,069	716 (14.1%)	2,400 (47.2%)	1,966 (38.7%)	5,083	731 (14.6%)	2,329 (46.5%)	1,948 (38.9%)	5,008	735 (14.8%)	2,300 (46.2%)	1,944 (39.0%)	4,980	722 (14.7%)	2,265 (46.0%)	1,937 (39.3%)	4,923
赤村	401 (12.7%)	1,726 (54.8%)	1,028 (32.7%)	3,147	365 (12.6%)	1,383 (47.6%)	1,161 (40.0%)	2,903	353 (12.4%)	1,325 (46.7%)	1,164 (41.0%)	2,836	352 (12.7%)	1,301 (46.9%)	1,121 (40.4%)	2,774	341 (12.5%)	1,271 (46.7%)	1,108 (40.7%)	2,720	325 (12.3%)	1,221 (46.0%)	1,106 (41.7%)	2,652
福智町	3,097 (13.0%)	13,613 (57.0%)	7,193 (30.1%)	23,892	2,876 (13.1%)	11,155 (50.7%)	7,932 (36.1%)	21,990	2,791 (12.9%)	10,817 (50.0%)	8,011 (37.0%)	21,641	2,691 (12.6%)	10,640 (49.7%)	8,067 (37.7%)	21,398	2,566 (12.3%)	10,307 (49.3%)	8,035 (38.4%)	20,903	2,464 (12.0%)	10,118 (49.3%)	7,980 (38.8%)	20,541

※総数には年齢不詳、計算不能を含む

## 2. 人口の状況 (2020年(令和2年)「国勢調査」)

### ●昼夜間人口

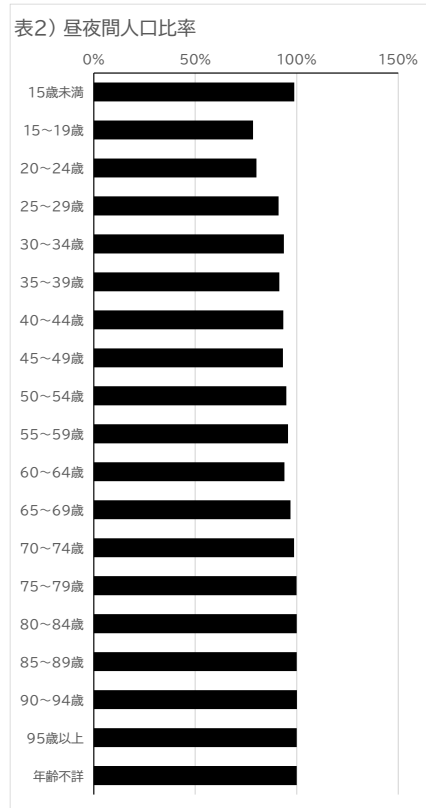
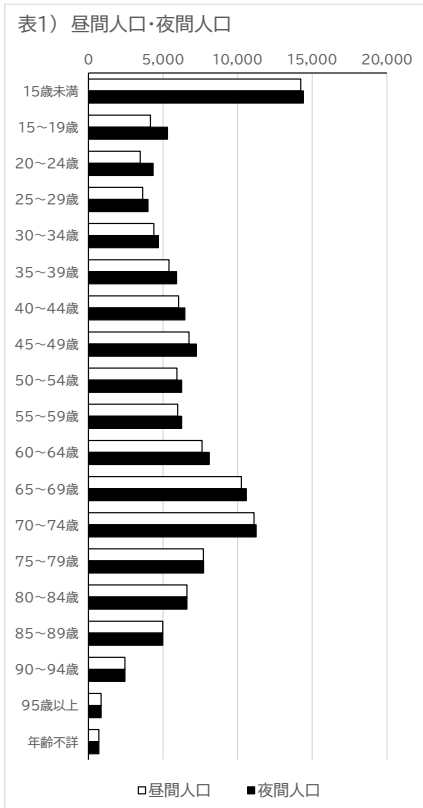


表3) 年齢別昼夜間人口

年齢	昼間人口		夜間人口		昼夜差		昼夜間人口比率	
	男	女	男	女	男	女	男	女
総数	50,388	61,756	54,223	63,735	-3,835	-1,979	92.9%	96.9%
15歳未満	7,233	6,995	7,305	7,093	-72	-98	99.0%	98.6%
15～19歳	2,084	2,074	2,634	2,665	-550	-591	79.1%	77.8%
20～24歳	1,492	1,978	2,057	2,270	-565	-292	72.5%	87.1%
25～29歳	1,738	1,898	2,004	1,988	-266	-90	86.7%	95.5%
30～34歳	2,125	2,259	2,338	2,343	-213	-84	90.9%	96.4%
35～39歳	2,583	2,812	2,957	2,946	-374	-134	87.4%	95.5%
40～44歳	2,895	3,143	3,192	3,271	-297	-128	90.7%	96.1%
45～49歳	3,197	3,541	3,519	3,712	-322	-171	90.8%	95.4%
50～54歳	2,753	3,171	2,948	3,299	-195	-128	93.4%	96.1%
55～59歳	2,720	3,252	2,931	3,308	-211	-56	92.8%	98.3%
60～64歳	3,411	4,196	3,778	4,319	-367	-123	90.3%	97.2%
65～69歳	4,758	5,493	5,037	5,543	-279	-50	94.5%	99.1%
70～74歳	5,107	5,985	5,224	6,015	-117	-30	97.8%	99.5%
75～79歳	3,226	4,476	3,236	4,477	-10	-1	99.7%	100.0%
80～84歳	2,429	4,166	2,427	4,169	2	-3	100.1%	99.9%
85～89歳	1,587	3,384	1,587	3,384	0	0	100.0%	100.0%
90～94歳	570	1,874	569	1,874	1	0	100.2%	100.0%
95歳以上	125	716	125	716	0	0	100.0%	100.0%
年齢不詳	355	343	355	343	0	0	100.0%	100.0%

- ・昼夜間人口の差が最も大きい年代は「15-19歳」であり、通学による流出が大きいものと思料
- ・昼夜間人口比率は「15-54」の年代層で95%を下回っている
- ・昼夜間人口比率を就業の年代(25-64)で見ると、男性の「25-29歳」、「35-39歳」で90%を切っており、域外への流出傾向が強いものと思料

## 2. 人口の状況 (2020年(令和2年)「国勢調査」)

表4) 昼夜間人口比率

		計		就業者		通学者		その他	
		男	女	男	女	男	女	男	女
自地域内で 従業・通学 等	自地域内で、従業・通学	21,955	23,789	16,492	18,418	5,463	5,371	0	0
	従業も通学もしていない	20,763	32,318					20,763	32,318
	不詳	2,311	2,276	313	249	303	285	1,695	1,742
	計	45,029	58,383	16,805	18,667	5,766	5,656	22,458	34,060
流出	他地域に従業・通学	9,194	5,352	8,237	4,272	957	1,080	0	0
流入	他地域から従業・通学	5,359	3,373	5,165	3,037	194	336	0	0

### 主な流出先

#### 【就業】

市区町村名	流出(人)	構成比	市区町村名	流出(人)	構成比
1 福岡県 飯塚市	3,074	24.57%	1 福岡県 飯塚市	519	25.48%
2 福岡県 直方市	1,915	15.31%	2 福岡県 直方市	305	14.97%
3 福岡県 嘉麻市	778	6.22%	3 福岡県 北九州市小倉北区	202	9.92%
4 福岡県 行橋市	708	5.66%	4 福岡県 福岡市博多区	115	5.65%
5 福岡県 北九州市小倉北区	683	5.46%	5 福岡県 みやこ町	105	5.15%

#### 【通学】

### 主な流入元

#### 【就業】

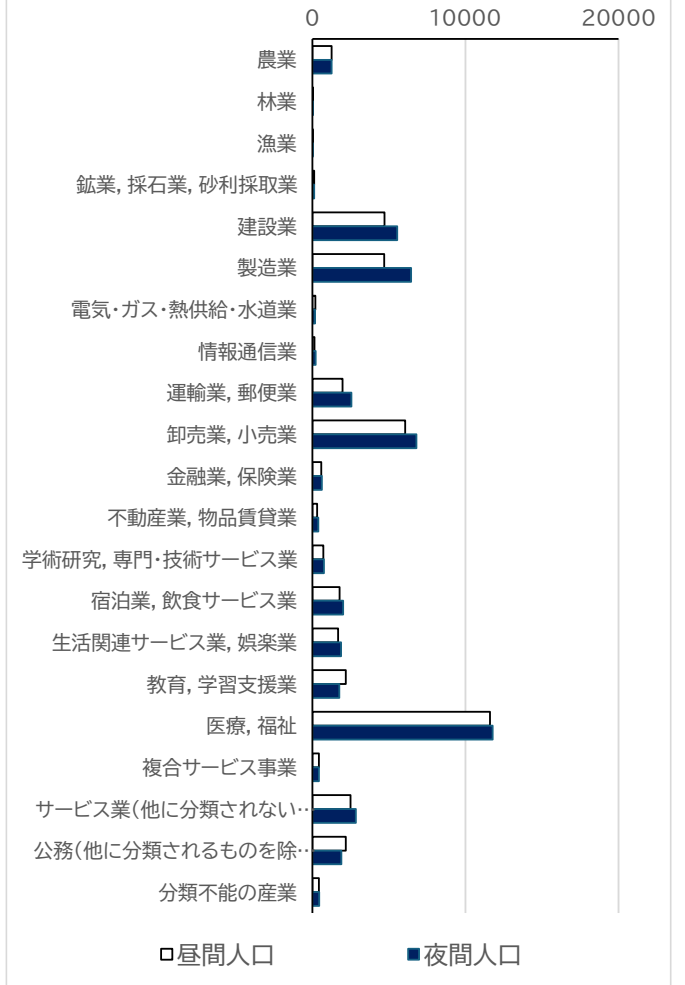
市区町村名	流入(人)	構成比	市区町村名	流入(人)	構成比
1 福岡県 飯塚市	2,446	29.82%	1 福岡県 行橋市	76	14.34%
2 福岡県 嘉麻市	879	10.72%	2 福岡県 飯塚市	64	12.08%
3 福岡県 直方市	863	10.52%	3 福岡県 みやこ町	54	10.19%
4 福岡県 北九州市八幡西区	522	6.36%	4 福岡県 北九州市八幡西区	36	6.79%
5 福岡県 北九州市小倉南区	471	5.74%	5 福岡県 北九州市小倉南区	32	6.04%

#### 【通学】

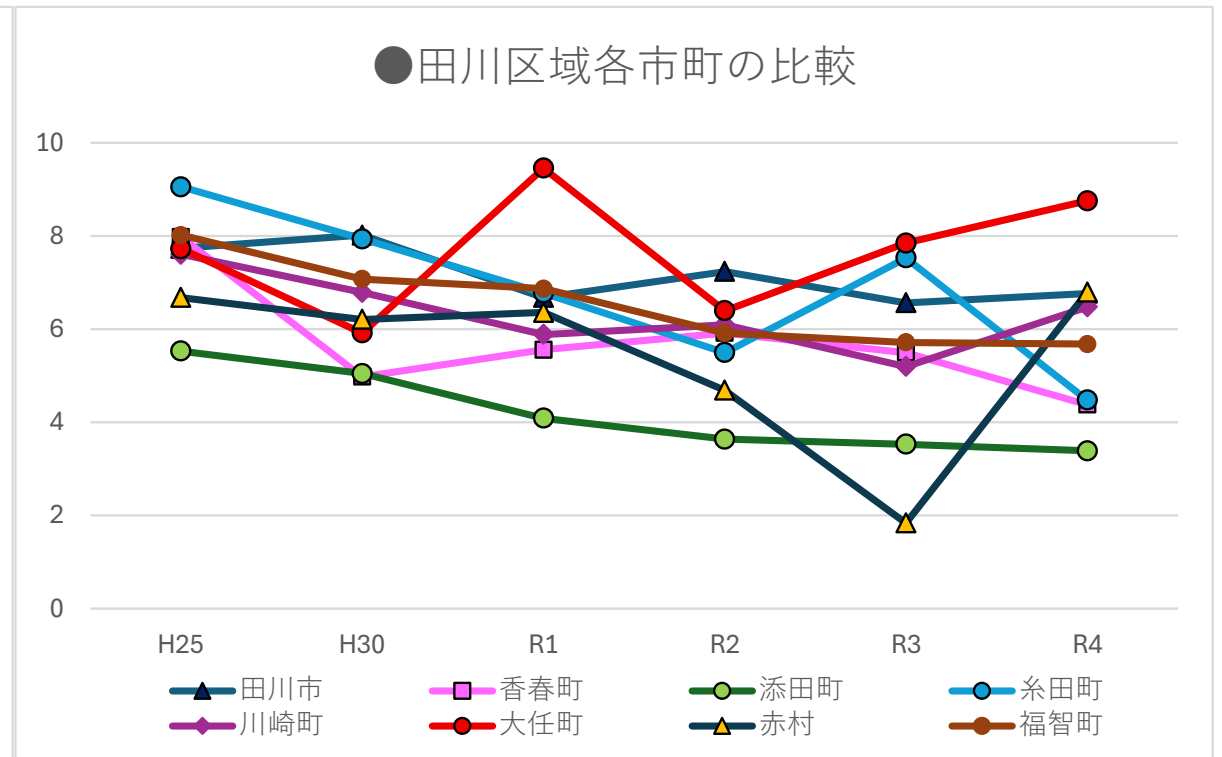
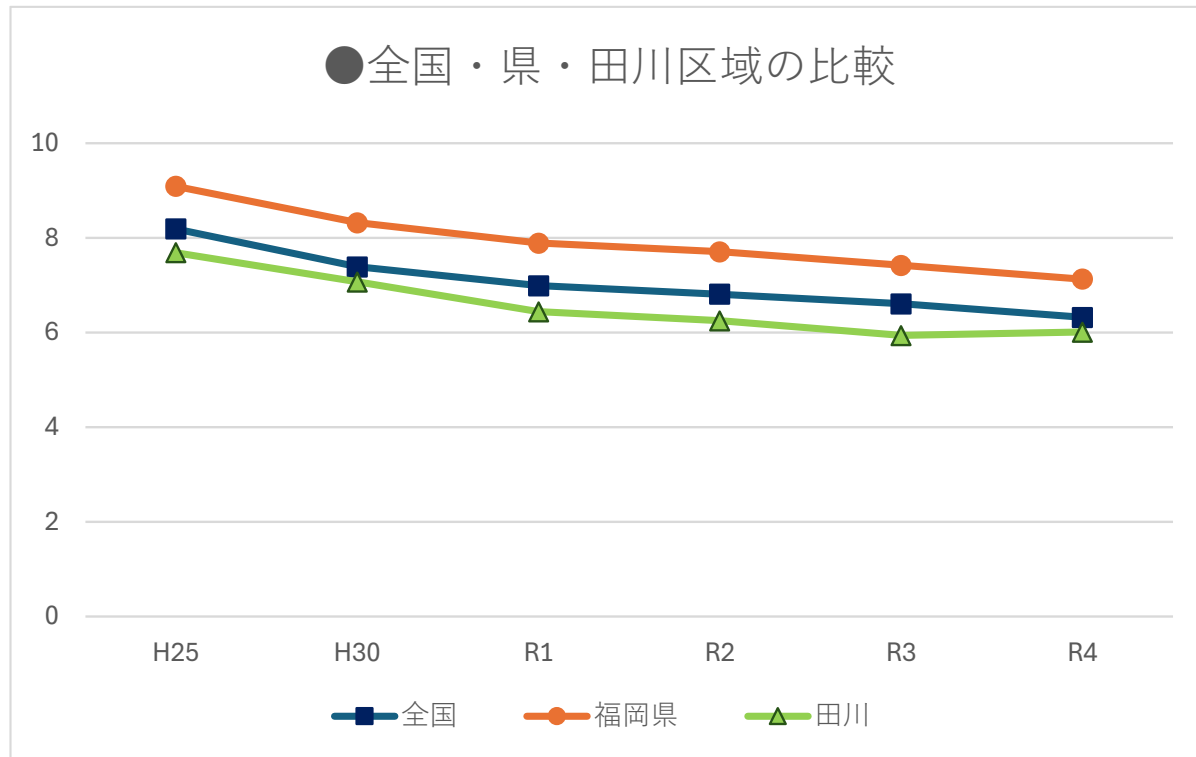
- ・ 就業者は、男女ともに流出が多い
- ・ 通学者は、男女ともに流出が多い

産業別に昼間人口を見ると、医療・福祉が最も多く、次いで卸売業・小売業、建設業、製造業となっている  
医療・福祉は夜間人口と昼間人口が概ね同程度である

表5) 昼間人口・夜間人口

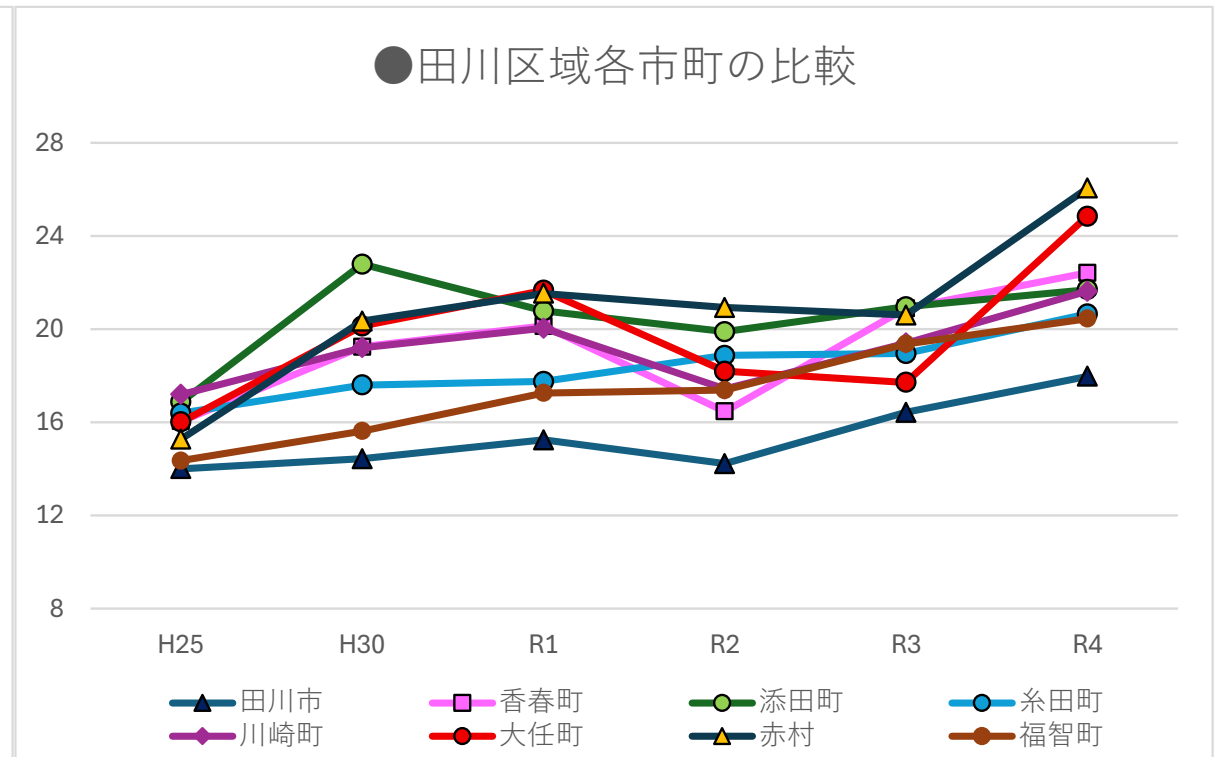
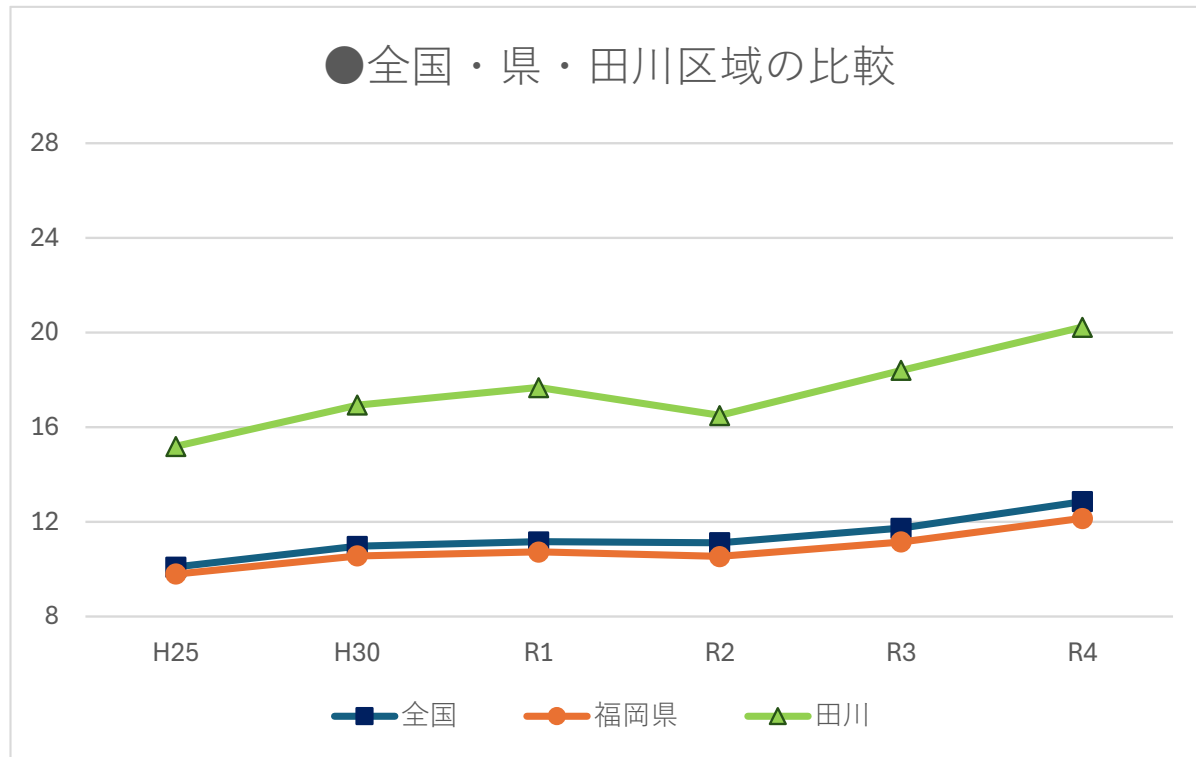


### 3. 出生率の状況 (「福岡県保健統計年報」)



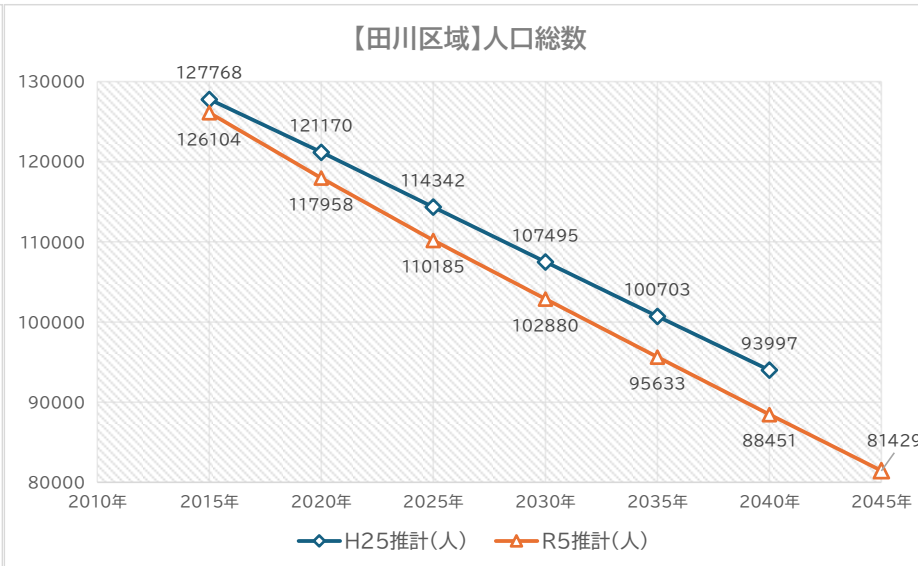
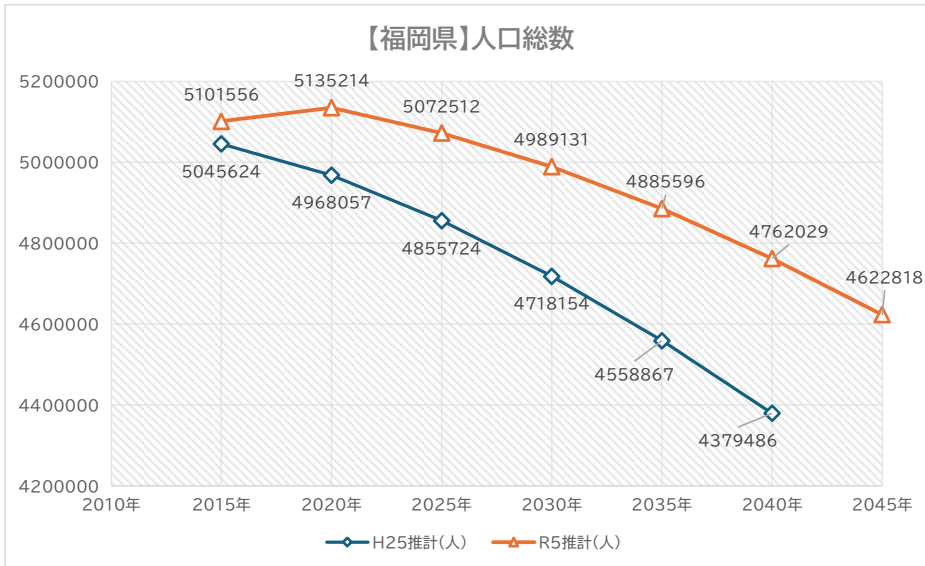
- ・出生率(人口千対)は、総人口、生産年齢人口の減少もあり、全国、福岡県、田川区域ともに低下傾向となっている
- ・市町村別で見ると、年度ごとに増減はあるものの、概ね低下傾向となっているが、大任町で近年出生率が上昇している
- ・R4年で県平均(7.1%)よりも高い市町村は、大任町(8.8%)のみである

## 4. 死亡率の状況 (「福岡県保健統計年報」)



- ・死亡率(人口千対)は、老年人口の増加もあり、全国、福岡県、田川区域ともに上昇傾向となっている
- ・特に、田川区域は、老年人口の割合が全国、福岡県と比較して高いため、死亡率も高くなっているものと思料
- ・市町村別を見ると、各市町村で異なった動きをしているが、概ね、上昇傾向にあるものと思料
- ・R4年の県平均(12.2%)よりも全ての市町村で死亡率が高い

## 5. 将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)



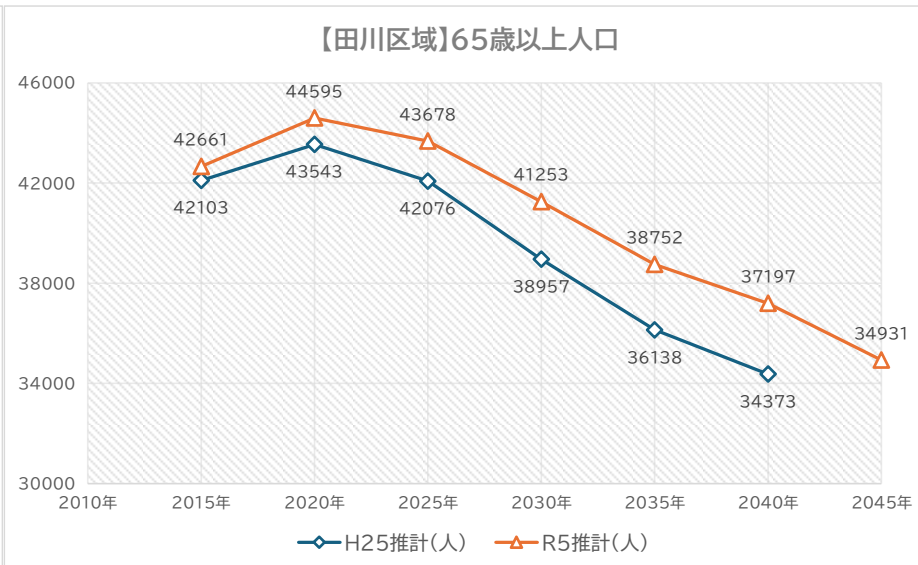
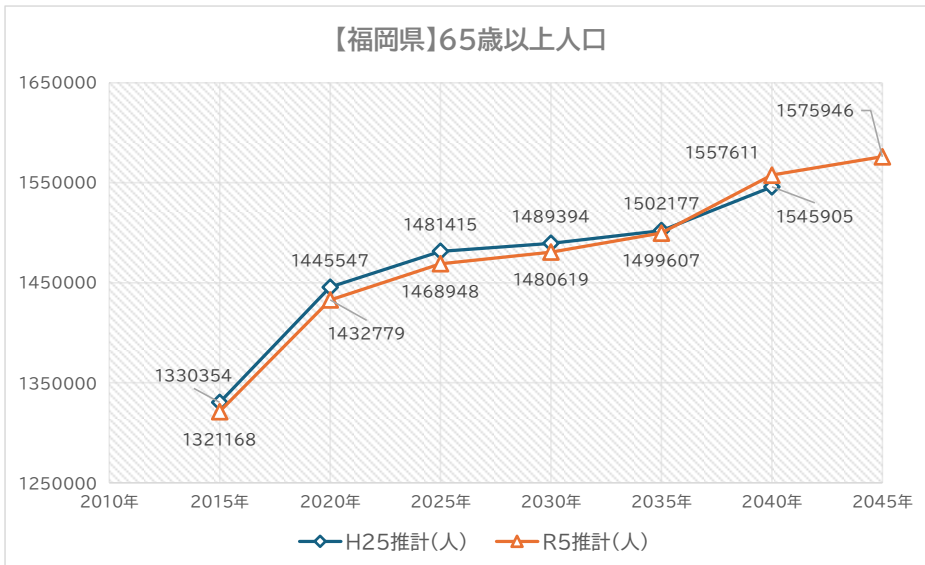
人口総数については、地域医療構想策定当時の推計(H25)と最新の推計(R5)を比べると、以下の状況が読み取れる

### 【福岡県全体】

当初の推計では、2015年以降減少する見込みであったが、R5推計では、2020年をピークに緩やかに減少する見込み

### 【田川区域】

当初推計と同様の傾向であるが、当初推計よりも減少傾向が強い状況で推移する見込み



65歳以上人口については、以下の状況が読み取れる

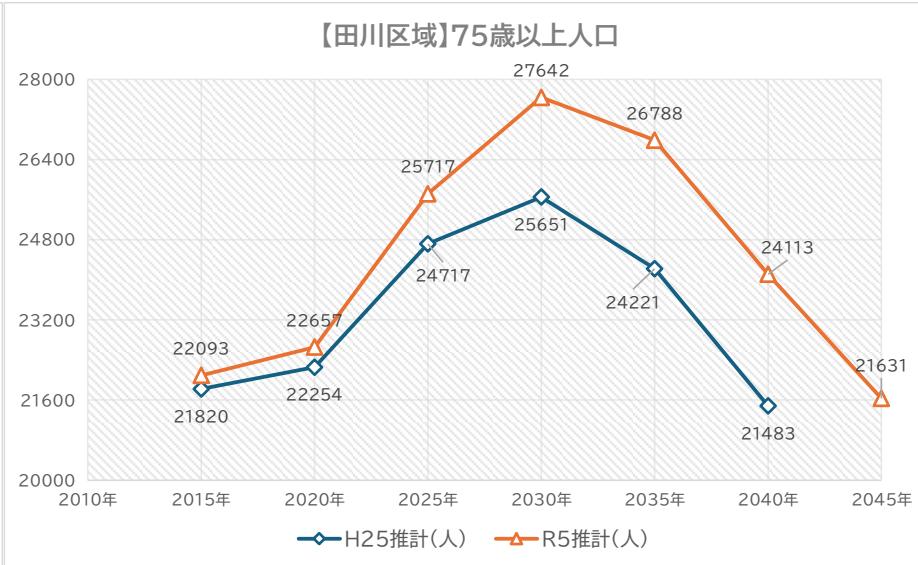
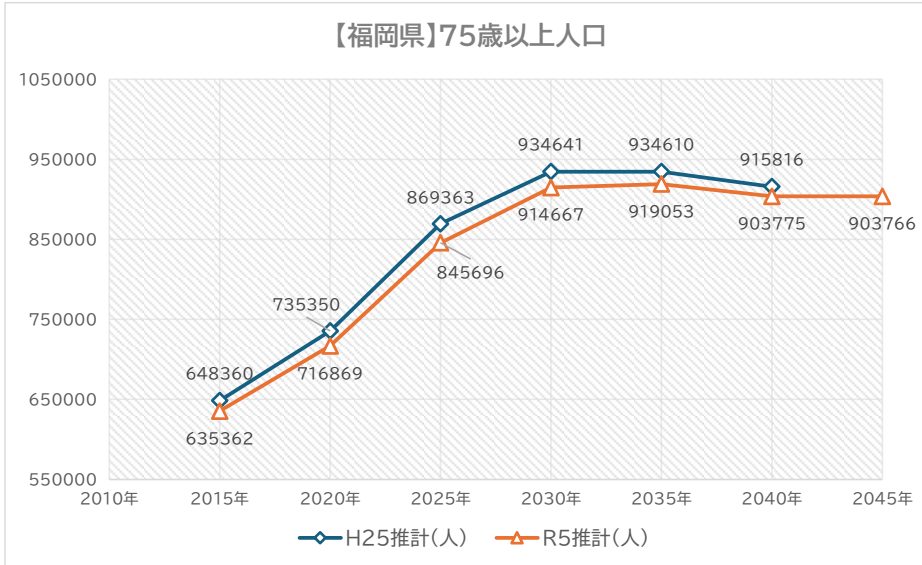
### 【福岡県全体】

当初の推計と概ね同様の傾向で推移する

### 【田川区域】

当初推計と同様の傾向で推移するが、人数そのものは増加する見込み

# 5. 将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)



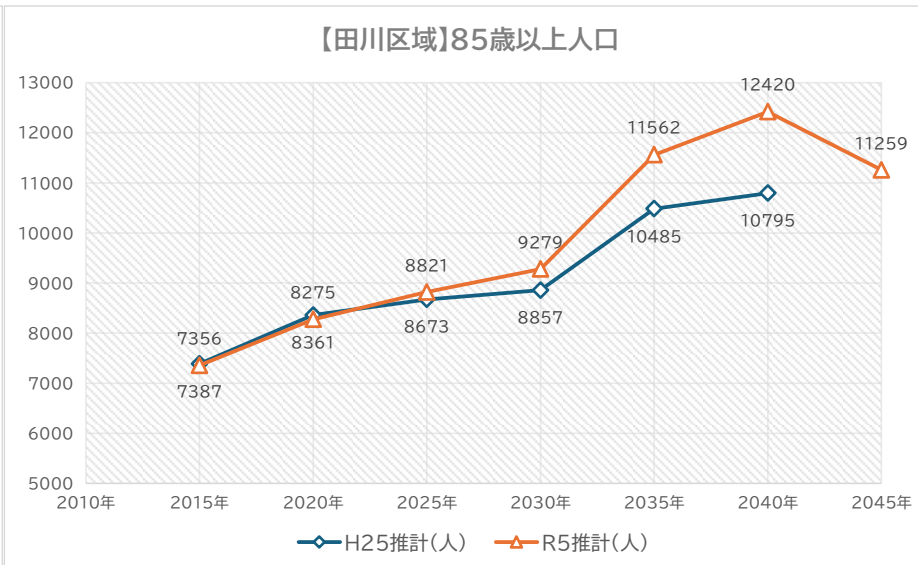
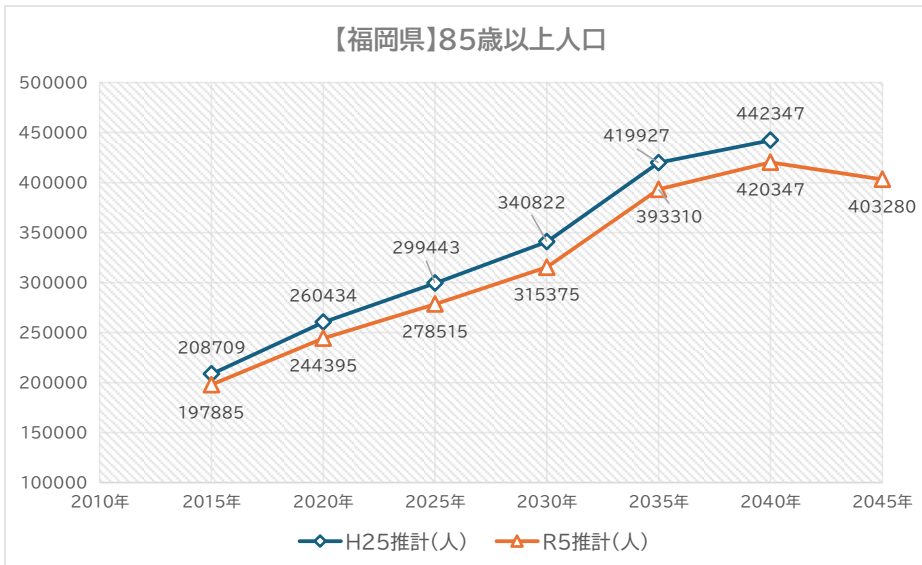
75歳以上人口については、以下の状況が読み取れる

#### 【福岡県全体】

当初の推計と概ね同様の傾向で推移するが、人数そのものは減少する見込み

#### 【田川区域】

当初推計と同様の傾向で推移するが、人数そのものは増加する見込み



85歳以上人口については、以下の状況が読み取れる

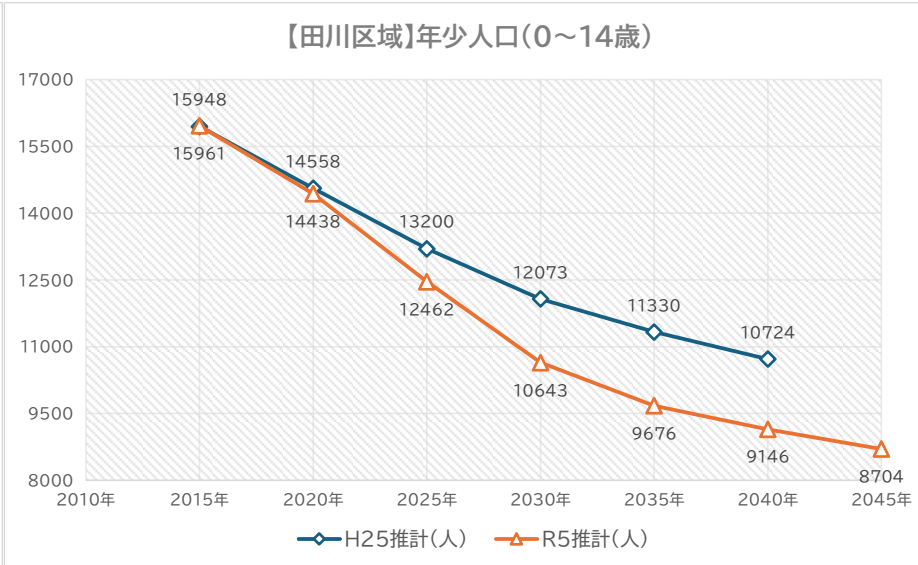
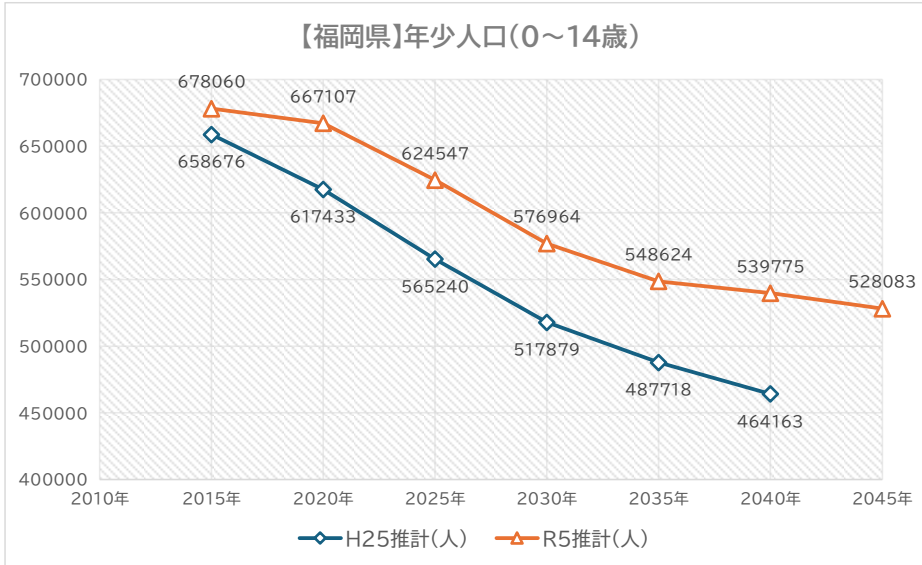
#### 【福岡県全体】

当初の推計と概ね同様の傾向で推移するが、人数そのものは減少する見込み

#### 【田川区域】

当初推計とほぼ同様の傾向で推移しているが、2035年以降、急激に増加する見込み

## 5. 将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)



年少人口については、以下の状況が読み取れる

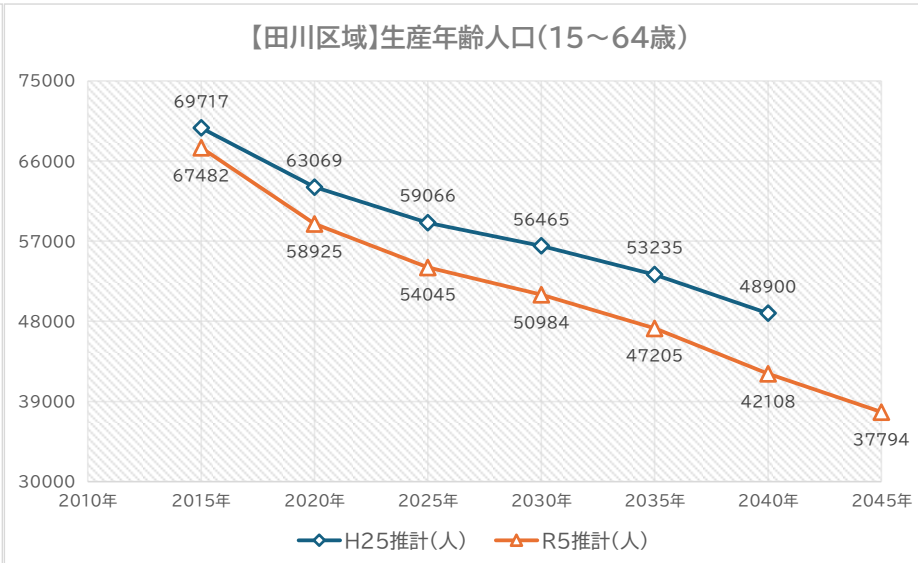
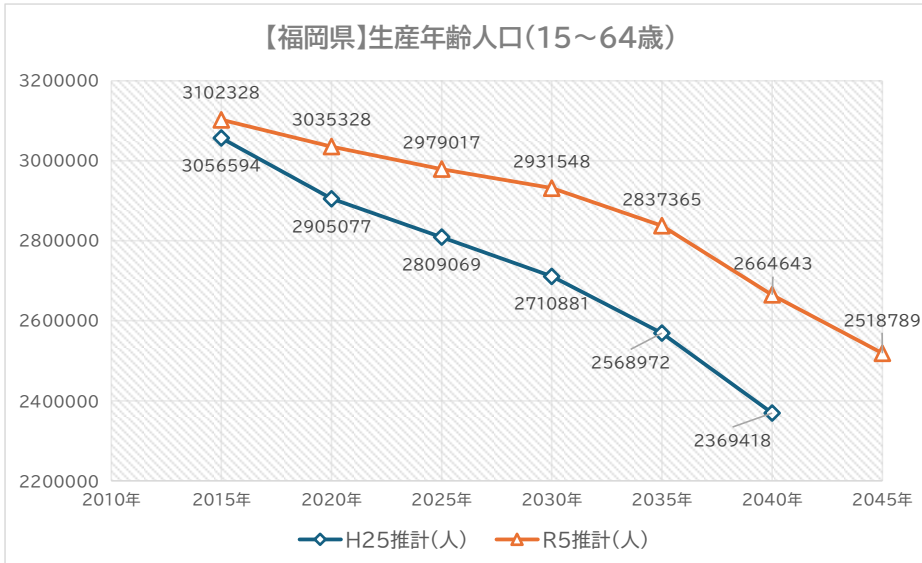
【福岡県全体】

当初の推計と概ね同様の傾向で推移するが、人数そのものは増加する見込み

またR5推計では、2040年にかけて減少のカーブが緩やかになる見込み

【田川区域】

当初の推計と概ね同様の傾向で推移するが、人数そのものは大きく減少する見込み



生産年齢人口については、以下の状況が読み取れる

【福岡県全体】

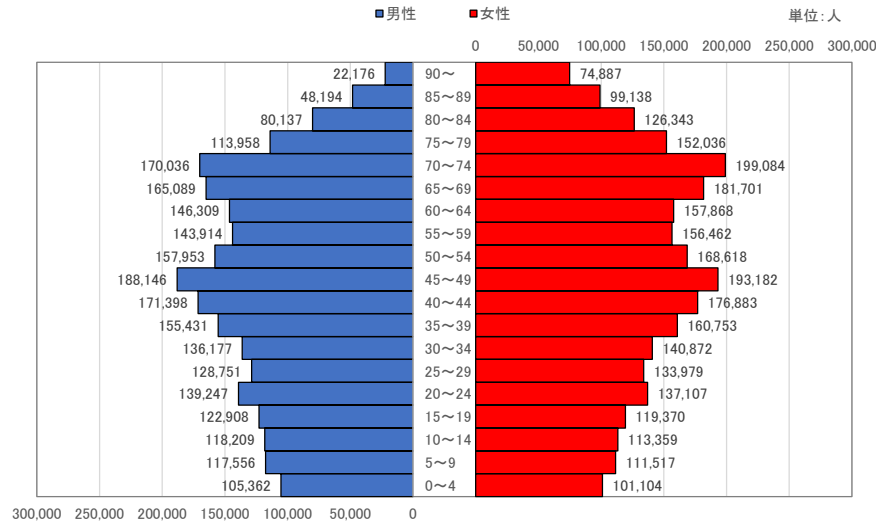
当初の推計と概ね同様の傾向で推移するが、人数そのものは増加する見込み

【田川区域】

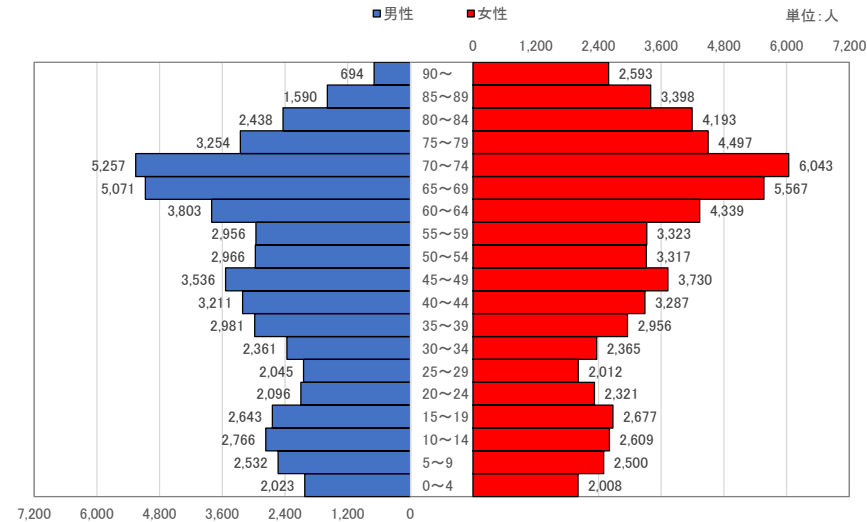
当初の推計と概ね同様の傾向で推移するが、人数そのものは減少する見込み

# 5. 将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)

【人口ピラミッドグラフ(福岡県)2020年】



【人口ピラミッドグラフ(田川)2020年】



2020(令和2)年の人口ピラミッドからは、以下の状況が読み取れる

**【福岡県全体】**

第1次ベビーブーム期にあたる71~74歳、第二次ベビーブーム期にあたる45~49歳で2つの人口の山があり、年齢が下がるにつれて人口が少なくなるつぼ型となっている

**【田川区域】**

福岡県全体と比較して、60代後半、70代前半の人口ボリュームが大きく、一定の規模を維持している

2040(令和22年)の人口ピラミッドからは、以下の状況が読み取れる

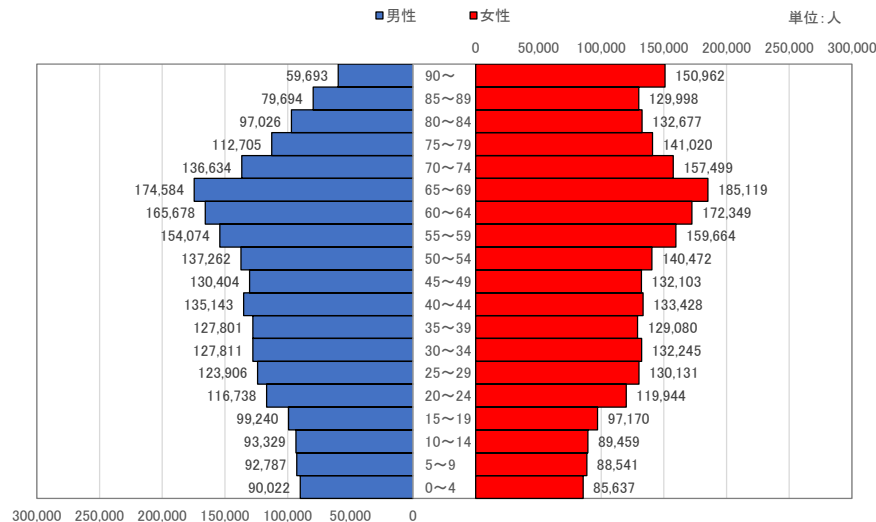
**【福岡県全体】**

ベビーブーム世代は90歳以上、65~69歳となり、この年代の人口ボリュームを一定程度維持しつつ推移するが、少子化が進むことによって、2020年に比べて年少人口が大きく減少し、より底が狭まったつぼ型となっている

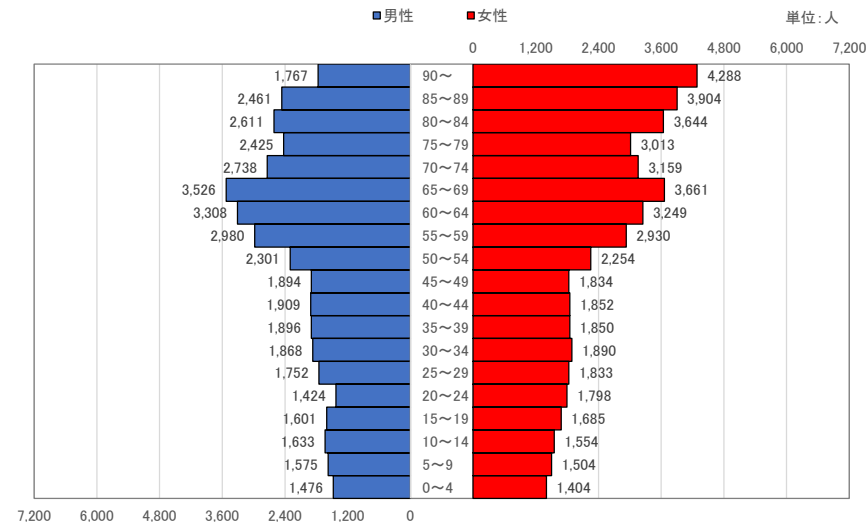
**【田川区域】**

65歳以上の老年人口が一定の規模を維持しつつ推移しているため、2020年時点に比べて少子高齢化がさらに進み、より底が狭まった形状となっている  
男性は全年代での人口減少が顕著で、つぼ型というよりも縦に細長い形状となっている

【人口ピラミッドグラフ(福岡県)2040年】



【人口ピラミッドグラフ(田川)2040年】



## 6. 市町村別将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)

将来の男女5歳階級別推計人口(2020年は国勢調査による実績値)

総数	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	減少率 (20→50)
田川市	46,203	44,186	42,135	40,119	38,130	36,185	34,421	25.5%
香春町	10,191	9,436	8,680	7,914	7,169	6,463	5,798	43.1%
添田町	8,801	7,940	7,102	6,301	5,550	4,839	4,205	52.2%
糸田町	8,407	7,896	7,387	6,862	6,330	5,803	5,333	36.6%
川崎町	15,176	13,762	12,414	11,099	9,795	8,578	7,469	50.8%
大任町	5,008	4,763	4,533	4,292	4,044	3,768	3,500	30.1%
赤村	2,774	2,576	2,398	2,221	2,037	1,855	1,692	39.0%
福智町	21,398	19,626	18,231	16,825	15,396	13,938	12,586	41.2%
田川計	117,958	110,185	102,880	95,633	88,451	81,429	75,004	36.4%

・いずれの市町村も2050年に向けて減少傾向であり、2020年から2050年の減少率は、圏域全体の人口総数で36.4%

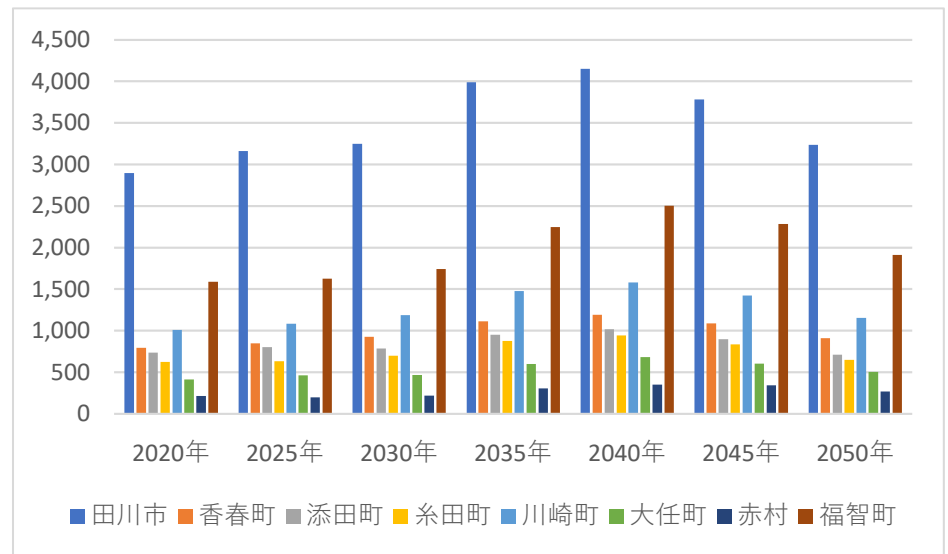
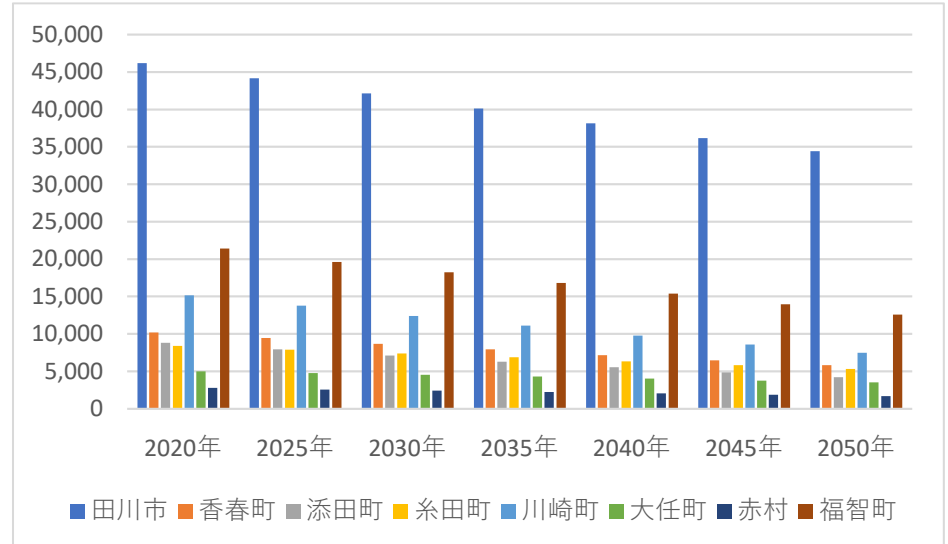
・減少率を市町村別で見ると、田川市が25.5%で最も低く、添田町は52.2%、川崎町は50.8%とほぼ半減する

85歳以上	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	増加率 (20→40)
田川市	2,896	3,162	3,250	3,989	4,150	3,782	3,236	43.3%
香春町	794	848	925	1,114	1,190	1,088	911	49.9%
添田町	737	802	785	952	1,017	897	710	38.0%
糸田町	623	633	700	878	945	836	650	51.7%
川崎町	1,011	1,086	1,188	1,478	1,581	1,423	1,153	56.4%
大任町	414	465	469	598	682	602	504	64.7%
赤村	213	198	221	304	353	345	270	65.7%
福智町	1,587	1,627	1,741	2,249	2,502	2,286	1,910	57.7%
田川計	8,275	8,821	9,279	11,562	12,420	11,259	9,344	50.1%

・いずれの市町村も2040年にピークを迎え、その後減少していく

・増加率(2020→2040)を市町村別で見ると、赤村、大任町の増加率は60%を超えている

・増加率が低いのは、添田町、田川市、香春町である



## 6. 市町村別将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)

生産年齢人口 (15～64歳)	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	減少率 (20→50)
田川市	24,317	23,173	22,438	21,377	19,782	18,490	17,454	28.2%
香春町	4,807	4,291	3,946	3,589	3,136	2,753	2,380	50.5%
添田町	4,018	3,501	3,160	2,768	2,307	1,897	1,567	61.0%
糸田町	4,056	3,739	3,600	3,295	2,935	2,603	2,334	42.5%
川崎町	7,457	6,545	5,888	5,163	4,226	3,515	2,909	61.0%
大任町	2,329	2,170	2,055	1,974	1,845	1,704	1,565	32.8%
赤村	1,301	1,154	1,085	1,008	889	770	691	46.9%
福智町	10,640	9,472	8,812	8,031	6,988	6,062	5,194	51.2%
田川計	58,925	54,045	50,984	47,205	42,108	37,794	34,094	42.1%

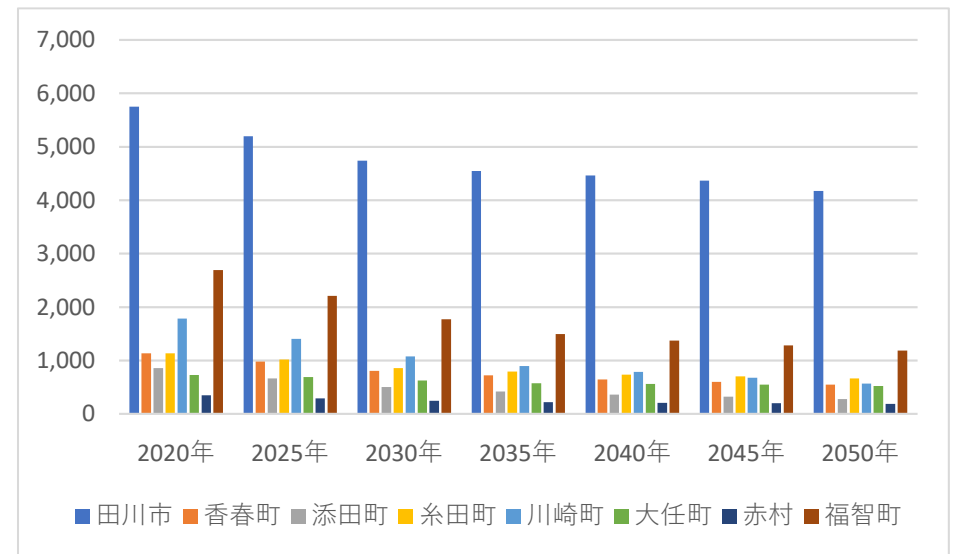
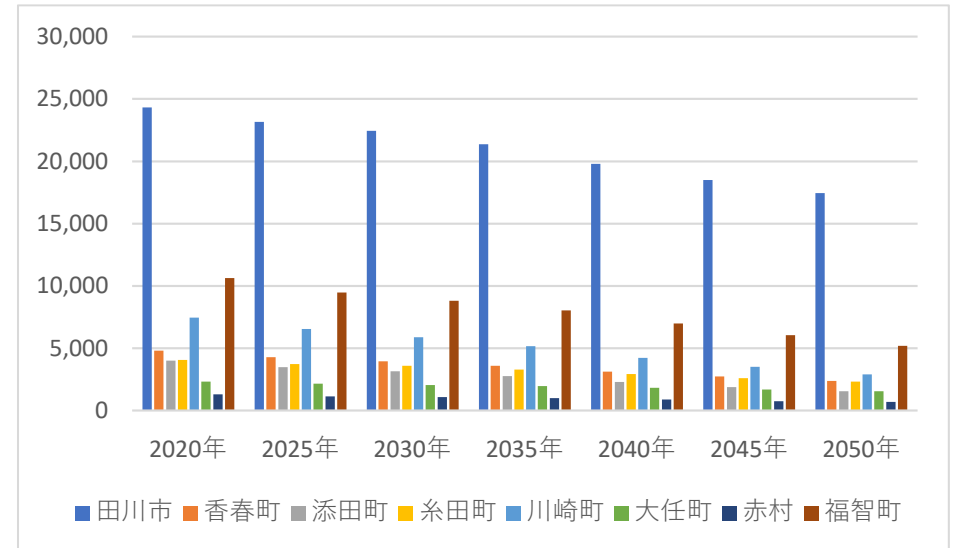
・いずれの市町村も2050年に向けて減少傾向であり、2020年から2050年の減少率は、人口総数より大きい割合となっている

・減少率を市町村別で見ると、添田町、川崎町で60%を超えており、田川市では20%台である

年少人口 (15歳未満)	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	減少率 (20→50)
田川市	5,751	5,196	4,744	4,548	4,467	4,366	4,172	27.5%
香春町	1,135	983	810	721	648	600	547	51.8%
添田町	856	668	508	419	366	322	277	67.6%
糸田町	1,135	1,019	862	795	737	706	668	41.1%
川崎町	1,787	1,404	1,079	898	786	680	571	68.0%
大任町	731	691	625	578	562	547	521	28.7%
赤村	352	291	245	219	208	199	189	46.3%
福智町	2,691	2,210	1,770	1,498	1,372	1,284	1,185	56.0%
田川計	14,438	12,462	10,643	9,676	9,146	8,704	8,130	43.7%

・いずれの市町村も2050年に向けて減少傾向であり、2020年から2050年の減少率は、人口総数より大きい割合となっている

・減少率を市町村別で見ると、添田町、川崎町で60%を大きく超えており、田川市、大任町は20%台である



## 7. SCRの状況 (SCRが100以上の項目の割合)

Standardized Claim-data Ratio: レセプト上に現れる各診療行為の算定回数を、都道府県の年齢構成の違いを調整し、出現比として指数化したもの

全国平均と同じ診療回数が行われた場合には指数が100となる

(県全体)	入院	外来	入院+外来	(田川地域)	入院	外来	入院+外来
A 基本診療科	86.8%	50.0%	60.0%	A 基本診療科	28.8%	33.3%	40.0%
B 医学管理等	76.9%	46.2%	63.6%	B 医学管理等	18.2%	0.0%	0.0%
C 在宅医療	54.5%	45.5%	40.6%	C 在宅医療	13.0%	13.9%	10.3%
D 検査	65.7%	32.8%	46.0%	D 検査	12.1%	8.6%	5.4%
E 画像	100.0%	60.0%	70.0%	E 画像	0.0%	0.0%	0.0%
F 投薬	100.0%	25.0%	33.3%	F 投薬	100.0%	25.0%	33.3%
G 注射	62.5%	50.0%	76.9%	G 注射	0.0%	25.0%	25.0%
H リハビリテーション	75.0%	62.5%	75.0%	H リハビリテーション	16.7%	0.0%	16.7%
I 精神	66.7%	71.4%	50.0%	I 精神	85.7%	44.4%	40.0%
J 処置	66.3%	46.7%	67.1%	J 処置	40.0%	20.5%	26.2%
K 手術	76.1%	45.2%	73.6%	K 手術	14.2%	24.2%	16.1%
L 麻酔	60.0%	42.9%	58.3%	L 麻酔	15.4%	33.3%	18.2%
M 放射線治療	100.0%	40.0%	100.0%	M 放射線治療	0.0%	0.0%	0.0%
N 病理診断	100.0%	42.9%	85.7%	N 病理診断	12.5%	0.0%	0.0%

・SCRが100以上の項目数は、以下のとおり(A~Nの全数)

〔県全体〕入院:545(73.3%)、外来:232(43.5%)、入院+外来:255(60.7%)

〔田川〕入院:95(19.2%)、外来:64(16.9%)、入院+外来52(14.0%)

・A~Nの分野ごとに見ると、田川区域では「投薬」が全て100以上で、「精神」の割合も高い

## 7. SCRの状況 (SCRが90未満の項目の割合)

Standardized Claim-data Ratio: レセプト上に現れる各診療行為の算定回数を、都道府県の年齢構成の違いを調整し、出現比として指数化したもの  
 全国平均と同じ診療回数が行われた場合には指数が100となる

(県全体)	入院	外来	入院+外来	(田川地域)	入院	外来	入院+外来
A 基本診療科	10.3%	33.3%	20.0%	A 基本診療科	65.4%	66.7%	60.0%
B 医学管理等	23.1%	46.2%	27.3%	B 医学管理等	81.8%	81.8%	90.9%
C 在宅医療	36.4%	36.4%	37.5%	C 在宅医療	82.6%	86.1%	89.7%
D 検査	24.1%	47.0%	38.1%	D 検査	85.9%	91.4%	93.8%
E 画像	0.0%	20.0%	20.0%	E 画像	100.0%	80.0%	80.0%
F 投薬	0.0%	75.0%	33.3%	F 投薬	0.0%	50.0%	33.3%
G 注射	31.3%	31.3%	15.4%	G 注射	91.7%	75.0%	75.0%
H リハビリテーション	25.0%	25.0%	25.0%	H リハビリテーション	66.7%	100.0%	83.3%
I 精神	33.3%	21.4%	37.5%	I 精神	14.3%	33.3%	40.0%
J 処置	25.0%	42.2%	22.9%	J 処置	58.3%	72.6%	67.7%
K 手術	13.7%	43.9%	15.5%	K 手術	81.6%	71.6%	79.6%
L 麻酔	33.3%	57.1%	41.7%	L 麻酔	76.9%	66.7%	81.8%
M 放射線治療	0.0%	60.0%	0.0%	M 放射線治療	100.0%	100.0%	100.0%
N 病理診断	0.0%	28.6%	0.0%	N 病理診断	87.5%	100.0%	100.0%

・SCRが90を下回る項目数は、以下のとおり(A~Nの全数)

〔県全体〕入院:137(18.4%)、外来:226(42.4%)、入院+外来:112(26.7%)

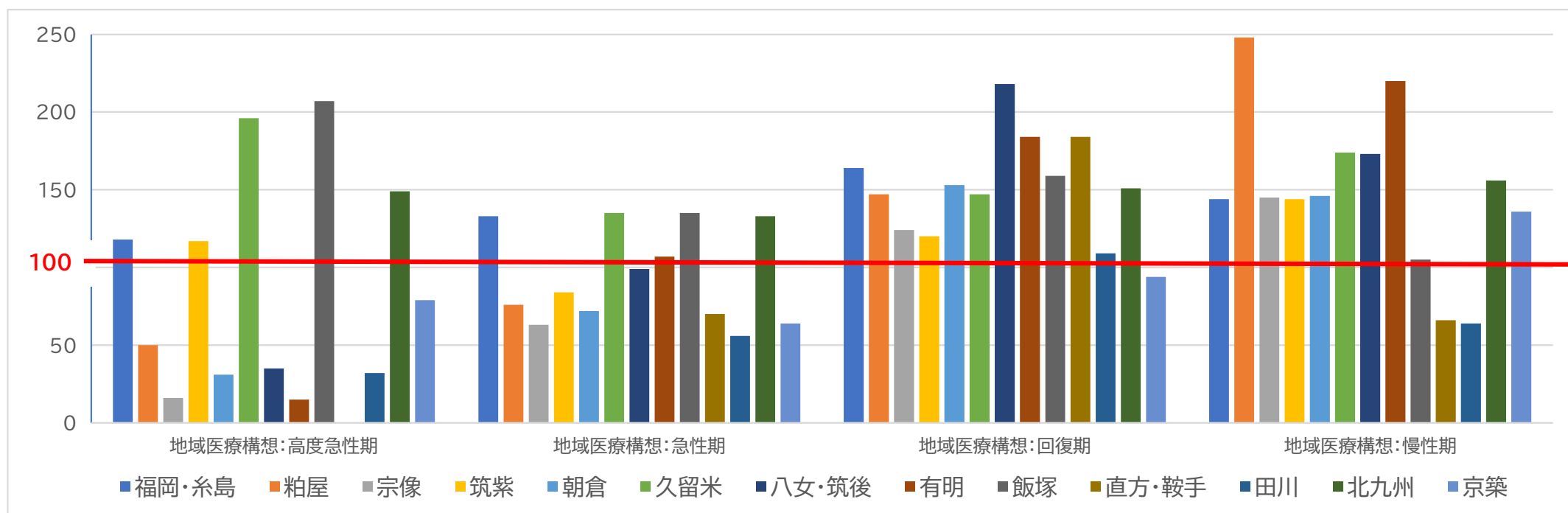
〔田川〕入院:382(77.2%)、外来:299(78.9%)、入院+外来:306(82.3%)

・田川区域では、多くの分野で90を下回る項目が多い傾向があり、「放射線治療」「画像」は全て90を下回っている

## 7. SCRの状況 (各圏域ごとの比較①)

※ 内閣府令和4年度診療分・二次医療圏別診療行為特別集計(東北大学藤森教授)  
 (独自の指標を作成し、それぞれ関連する診療行為コードを集計し、数値化したもの)

	福岡・糸島	粕屋	宗像	筑紫	朝倉	久留米	八女・筑後	有明	飯塚	直方・鞍手	田川	北九州	京築
地域医療構想:高度急性期	118	50	16	117	31	196	35	15	207		32	149	79
地域医療構想:急性期	133	76	63	84	72	135	99	107	135	70	56	133	64
地域医療構想:回復期	164	147	124	120	153	147	218	184	159	184	109	151	94
地域医療構想:慢性期	144	248	145	144	146	174	173	220	105	66	64	156	136

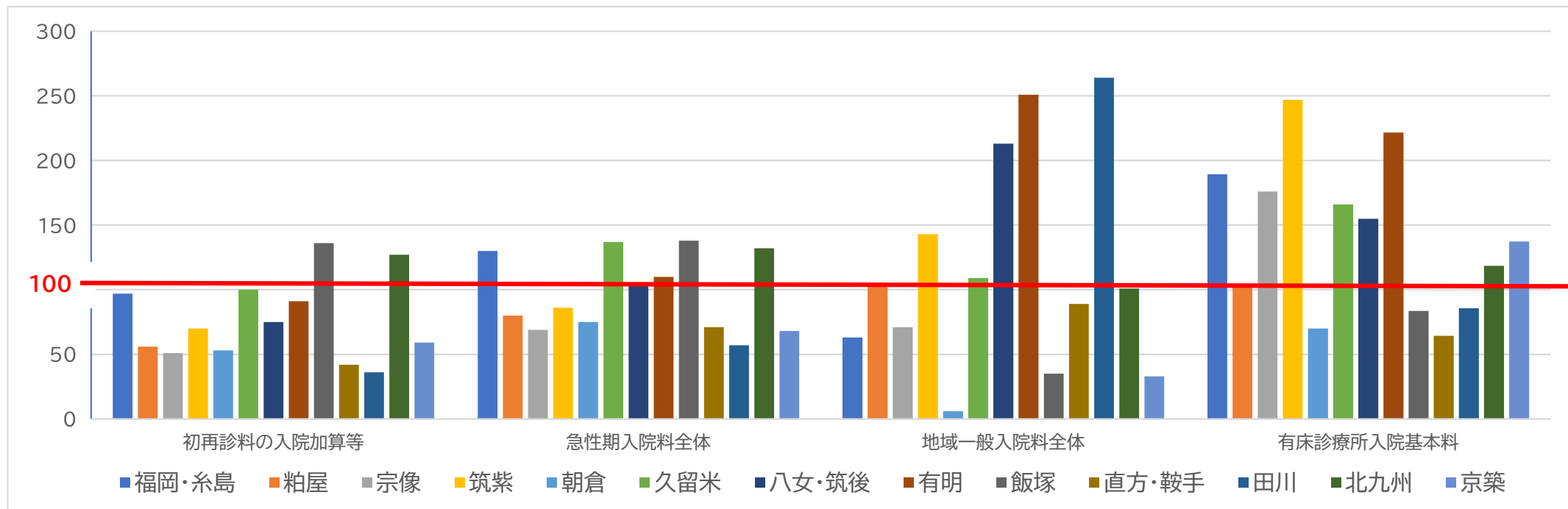


## 7. SCRの状況 (各圏域ごとの比較②)

※ 内閣府令和4年度診療分・二次医療圏別診療行為特別集計(東北大学藤森教授)

(独自の指標を作成し、それぞれ関連する診療行為コードを集計し、数値化したもの)

	福岡・糸島	粕屋	宗像	筑紫	朝倉	久留米	八女・筑後	有明	飯塚	直方・鞍手	田川	北九州	京築
初再診料の入院加算等	97	56	51	70	53	100	75	91	136	42	36	127	59
急性期入院料全体	130	80	69	86	75	137	105	110	138	71	57	132	68
地域一般入院料全体	63	103	71	143	6	109	213	251	35	89	264	101	33
有床診療所入院基本料	190	103	176	247	70	166	155	222	84	64	86	119	137

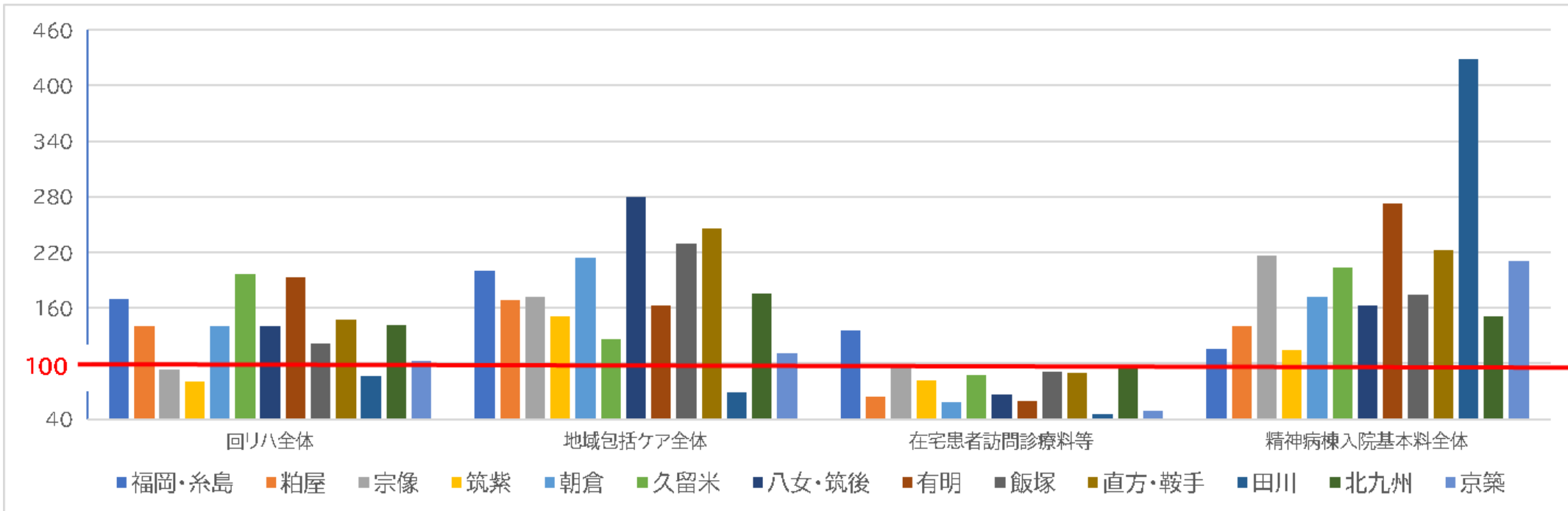


## 7. SCRの状況（各圏域ごとの比較③）

※ 内閣府令和4年度診療分・二次医療圏別診療行為特別集計(東北大学藤森教授)

(独自の指標を作成し、それぞれ関連する診療行為コードを集計し、数値化したもの)

	福岡・糸島	粕屋	宗像	筑紫	朝倉	久留米	八女・筑後	有明	飯塚	直方・鞍手	田川	北九州	京築
回り八全体	170	140	94	80	140	196	140	193	122	147	86	141	103
地域包括ケア全体	200	168	172	151	214	126	280	163	229	246	69	175	111
在宅患者訪問診療料等	136	64	99	82	58	88	66	60	91	90	46	98	49
精神病棟入院基本料全体	116	140	216	114	172	204	162	273	174	222	429	151	211

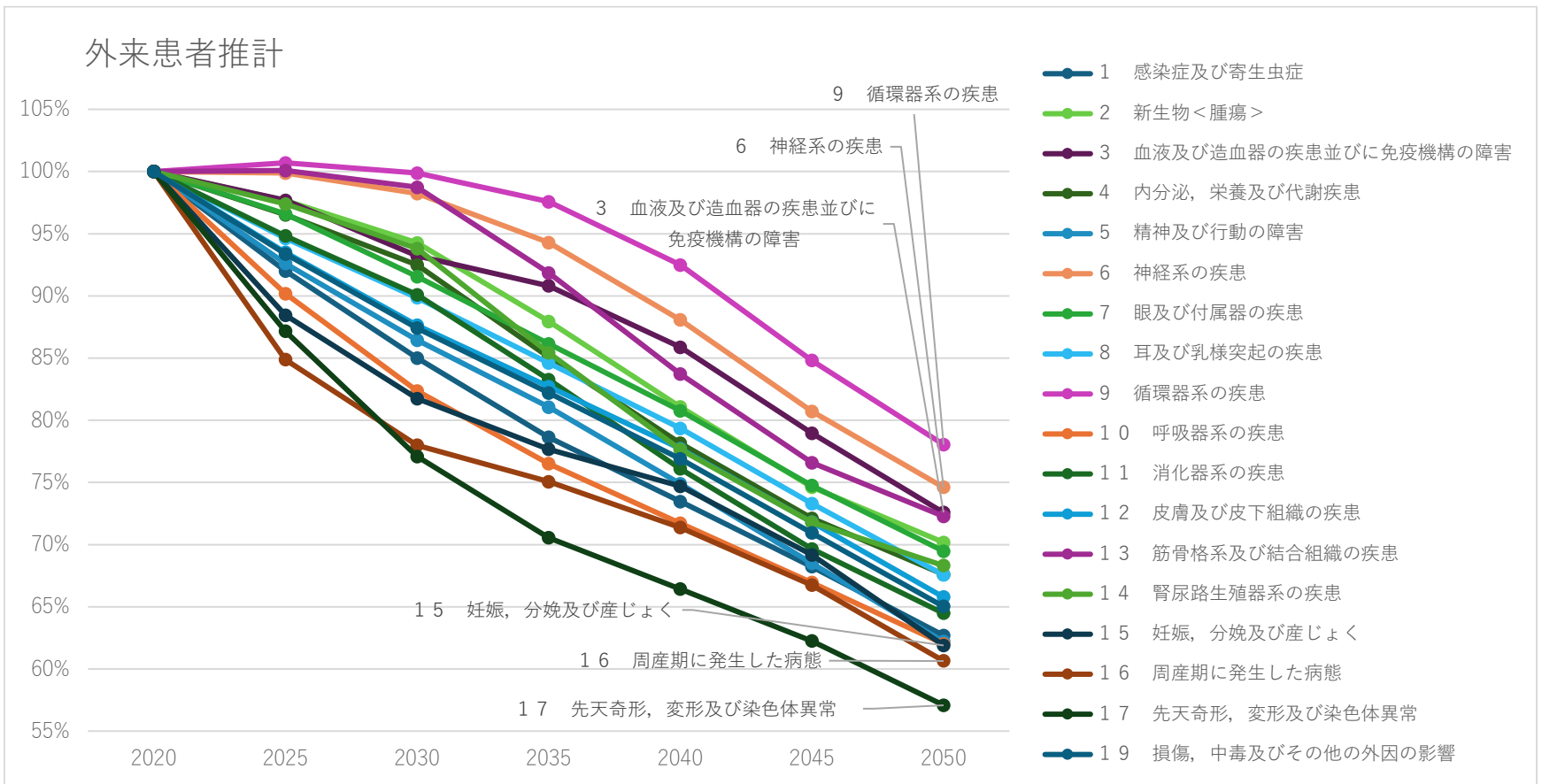


# 8. 患者推計 (産業医科大学:地域別人口変化分析ツールAll Japan Areal Population-change Analyses(AJAPA))

田川区域(市区町村別の患者推計は、別紙資料1を参照)

## 【外来患者推計】

循環器系、筋骨格系は、2025年がピークで以降減少していく見込み  
それ以外については、2020年以降減少していく見込み



外来患者数は、全ての疾病が2050年時点で100%を下回っており、今後も外来患者は減り続けるものと思料

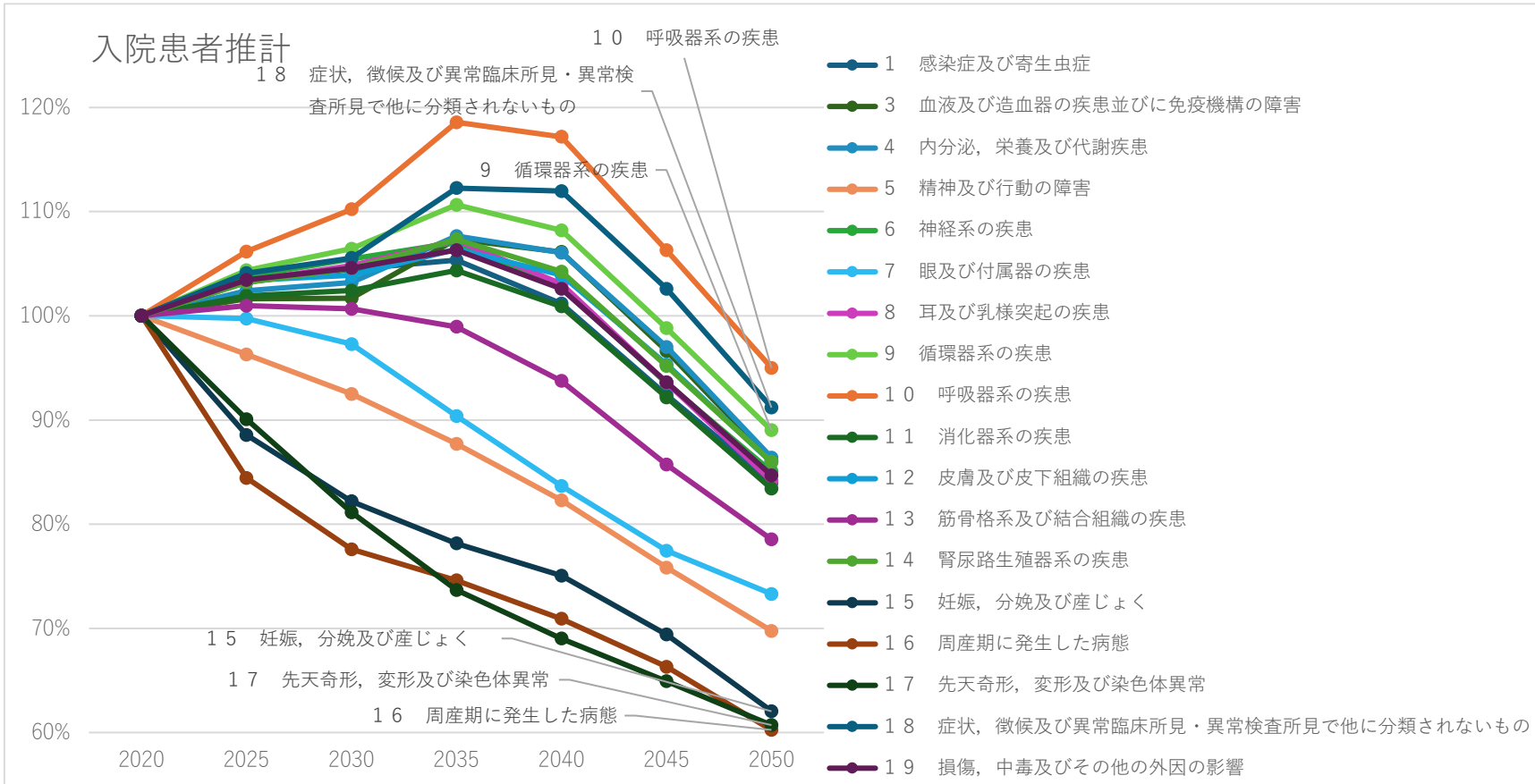
・減少率が大きい主な疾病は、次のとおり

- 系列17[先天奇形, 変形及び染色体異常]  
(対応する診療科)  
→小児科
- 系列16[周産期に発生した病態]  
系列15[妊娠、分娩及び産じょく]  
(対応する診療科)  
→産婦人科、産科、婦人科

# 8. 患者推計 (産業医科大学:地域別人口変化分析ツールAll Japan Areal Population-change Analyses(AJAPA))

## 【入院患者推計】

呼吸器、循環器、内分泌、腎尿路、血液、皮膚、損傷、神経、消化器、感染症は2035年をピークに、2050年まで減少が見込み  
 周産期、妊娠・分娩、精神系は2020年以降減少していく見込み



2020年を基準とした入院患者数は、全ての疾病で、2050年時点で100%を下回っており、今後も入院患者は減り続けるものと思料

・2050年時点で、減少率が大きい主な疾病は、次のとおり

- 系列16〔周産期に発生した病態〕
- 系列15〔妊娠、分娩及び産じょく〕  
→産婦人科、産科、婦人科
- 系列17〔先天奇形、変形及び染色体異常〕  
(対応する診療科)  
→小児科
- 系列6〔精神及び行動の障害〕  
(対応する診療科)  
→精神科、心療内科

## 9. 医療従事者数〔医師〕（令和4年「医師・歯科医師・薬剤師調査」）※人口：福岡県人口移動調査（R4.12.1）

		医師数	人口10万人当たり
田川市		177	391.7
	病院	123	272.2
	診療	54	119.5
香春町		3	30.4
	病院	-	-
	診療	3	30.4
添田町		12	145.2
	病院	3	36.3
	診療	9	108.9
糸田町		10	123.5
	病院	3	37.0
	診療	7	86.4
川崎町		20	136.9
	病院	14	95.8
	診療	6	41.1
大任町		5	101.6
	病院	-	-
	診療	5	101.6
赤村		1	37.7
	病院	-	-
	診療	1	37.7
福智町		23	112.0
	病院	12	58.4
	診療	11	53.6
田川 計		251	219.9
	病院	155	135.8
	診療	96	84.1
福岡県 計		15,968	312.0
	病院	11,025	215.4
	診療	4,943	96.6

◆医師偏在指標及び県内・全国順位（県内二次保健医療圏、周産期医療圏、小児科）

		医師偏在指標		
		数値	県内順位	全国順位
医師全体	福岡県	313.3	—	3/47
	朝倉	202.0	9/13	152/330
	飯塚	341.3	3/13	21/330
	直方・鞍手	184.4	12/13	205/330
	田川	197.4	11/13	171/330
	北九州	301.6	4/13	38/330
	京築	151.6	13/13	288/330
産科	福岡県	11.0	—	12/47
	福岡	10.4	3/4	94/258
	筑後	11.6	2/4	71/258
	筑豊	8.7	4/4	147/258
	北九州	12.7	1/4	53/258
小児科	福岡県	122.0	—	16/47
	朝倉	94.9	8/13	189/303
	飯塚	124.0	5/13	88/303
	直方・鞍手	81.5	12/13	251/303
	田川	119.8	6/13	103/303
	北九州	132.7	2/13	58/303
	京築	40.8	13/13	302/303

「福岡県医師確保計画（令和6年3月）「医師偏在指標及び県内・全国順位」から抜粋」

- ・人口10万人当たりの医師数で100を切っているのは、香春町、赤村
- ・医師偏在指標を見ると、田川区域は、医師全体は県で11位と低位にある
- ・小児科医師は、県で6位と概ね中位、全国順位でも概ね中位にある

## 9. 医療従事者数〔医師〕 診療所開設者年齢ピラミッド「公衆衛生等に係る医療の提供状況」(令和5年9月福岡県医療指導課)

年齢階級	朝倉	飯塚	直方・鞍手	田川	京築	福岡県
90 -	0	2	0	0	2	23
85 - 89	0	1	1	2	2	43
80 - 84	0	4	1	2	0	74
75 - 79	3	7	8	6	9	208
70 - 74	7	15	9	13	11	466
65 - 69	3	24	16	15	17	550
60 - 64	11	17	10	11	21	544
55 - 59	6	10	4	3	16	419
50 - 54	2	11	4	10	12	321
45 - 49	4	5	2	2	5	243
40 - 44	3	3	2	1	5	121
35 - 39	0	0	3	1	0	31
30 - 34	0	0	0	0	1	9
- 29	0	0	0	0	0	1
Total	39	99	60	66	101	3,053

・診療所開設者の年齢ピラミッドを見ると、「65-69」「70-74」がボリュームゾーンとなっているが、他の地区に比べて「50-54」が多い

・医師不足や後継者確保(継承)の困難さを鑑みると、10年後、20年後の体制を考えておく必要があるのではないか

## 10. 医療従事者数〔医師・診療科①〕（令和4年「医師・歯科医師・薬剤師調査」）

外来 入院		減少 減少	減少 減少	減少 減少	減少 減少	減少 減少	減少 減少	減少 減少	減少 減少	減少 減少	減少 減少	減少 減少	減少 減少
	内科	精神科	外科	整形外科	小児科	産婦人科	消化器内科 (胃腸内科)	皮膚科	眼科	脳神経外科	臨床研修医	循環器内科	泌尿器科
田川市	31	24	14	13	7	9	7	7	6	4	7	4	5
香春町	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
添田町	2	3	1	1	2	1	1	-	-	-	-	1	-
糸田町	5	-	1	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-
川崎町	11	-	1	2	1	-	-	-	1	3	-	-	-
大任町	1	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-
赤村	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福智町	13	5	1	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-
田川	66	33	20	18	12	10	9	8	8	7	7	6	5

外来 入院	減少 減少	減少 減少		減少 減少			減少 減少	減少 減少	減少 減少	減少 減少	減少 減少	減少 減少	
	腎臓内科	耳鼻 いんこう科	麻酔科	呼吸器内科	リハビリテー ション科	放射線科	脳神経内科	形成外科	感染症内科	心療内科	消化器外科 (胃腸外科)	婦人科	病理診断科
田川市	4	4	4	3	3	3	2	2	1	-	1	1	1
香春町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
添田町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
糸田町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
川崎町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大任町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
赤村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福智町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
田川	4	4	4	3	3	3	2	2	1	1	1	1	1

※スライド21・22を基に、今後患者が増えていく見込みの診療科（入院・外来）は「増加」、減少していく見込みの診療科は「減少」としている

## 10. 医療従事者数〔医師・診療科②〕（令和4年「医師・歯科医師・薬剤師調査」）

外来  
入院

	救急科	その他	不詳
田川市	-	4	6
香春町	-	-	-
添田町	-	-	-
糸田町	-	-	1
川崎町	1	-	-
大任町	-	-	-
赤村	-	-	-
福智町	-	-	-
田川	1	4	7

令和6年3月に策定した「福岡県外来医療計画」の構想区域の主な意見

- ・泌尿器科が不足することが予想される
- ・以前より、産婦人科が不足している状況が続いている
- ・小児科は予約で埋まっていることも多く、不足している
- ・死体検案を特定の医師だけで担っており、負担が大きくなっている

※スライド21・22を基に、今後患者が増えていく見込みの診療科（入院・外来）は「増加」、減少していく見込みの診療科は「減少」としている

# 11. 医療従事者数〔常勤医師①〕（令和5年度「病床機能報告」）

市町村名	医療機関名	医師数		常勤医師割合	(参考) 看護師数	(参考) 准看護師数	許可病床数					病床稼働率((在棟・在院患者延べ数+退棟・退院患者数)/(許可病床数*365))	救急車受入数(※)	
							高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中			
田川市	社会保険田川病院		53.7	88.0%	207.8	19.5	17	198	120	0	0	67.8%	2,171	救急告示
		常勤	47		195	15								
		非常勤	6.7		12.8	4.5								
	医療法人鷹ノ羽会 村上外科病院		11	55.0%	34	24	0	60	0	0	0	76.9%	414	
		常勤	6		32	24								
		非常勤	5		2	0								
	田川市立病院		46	87.0%	197.6	5.8	0	254	45	0	6	50.6%	1,210	
		常勤	40		188	0								
		非常勤	6		9.6	5.8								
	社会福祉法人柏芳会田川新生病院		8.2	49.0%	47	10	0	0	60	30	0	96.2%	0	
		常勤	4		47	10								
		非常勤	4.2		0	0								
	一本松すずかけ病院		16.6	66.0%	36	16	0	0	44	0	0	93.6%	*	
		常勤	11		36	16								
		非常勤	5.6		0	0								
	医療法人 田中医院		1	100.0%	0	10	0	0	0	19	0	3.7%	*	
		常勤	1		0	10								
		非常勤	0		0	0								
岡部内科循環器内科		1	100.0%	0	5.5	0	0	0	0	19	0.1%	0		
	常勤	1		0	5									
	非常勤	0		0	0.5									
荒牧医院		1	100.0%	0	0	0	0	0	0	19	0.0%	0		
	常勤	1		0	0									
	非常勤	0		0	0									
倉員医院		11	18.0%	1	13	0	0	0	12	0	11.7%	0		
	常勤	2		1	13									
	非常勤	9		0	0									
医療法人 弓削クリニック		2	50.0%	1	13	0	19	0	0	0	27.2%	0		
	常勤	1		1	13									
	非常勤	1		0	0									

※月別の件数に1件～9件の数値がある場合、「\*」表記

救急告示

救急告示

救急告示

# 11. 医療従事者数〔常勤医師②〕（令和5年度「病床機能報告」）

市町村名	医療機関名	医師数		常勤医師割合	(参考) 看護師数	(参考) 准看護師数	許可病床数					病床稼働率((在棟・在院患者延べ数+退棟・退院患者数)/(許可病床数*365))	救急車受入数(※)
							高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中		
田川市	医療法人中富内科医院		2	100.0%	0	8	0	0	0	19	0	62.5%	*
		常勤	2		0	8							
		非常勤	0		0	0							
	福井クリニック		0	-	0	0	0	0	0	0	18	0.0%	0
常勤		0	0		0								
香春町	佐柳医院		1	100.0%	1	3.4	0	0	19	0	0	48.6%	*
		常勤	1		1	2							
添田町	英彦山病院		0	-	0	0	0	0	0	0	19	0.0%	0
		常勤	0		0	0							
	医療法人養生会宮城内科胃腸科医院		1	100.0%	1.3	4	0	15	0	0	0	10.8%	*
		常勤	1		1	4							
	医療法人 中山産婦人科医院		1	100.0%	0	0	0	0	0	0	9	0.0%	0
		常勤	1		0	0							
	医療法人 中山医院		1	100.0%	0	4	0	0	0	0	18	0.0%	0
		常勤	1		0	4							
糸田町	糸田町立緑ヶ丘病院		6	100.0%	26	5	0	54	0	0	45	12.9%	*
		常勤	6		25	5							
川崎町	地方独立行政法人 川崎町立病院		7.8	38.0%	31.4	11.7	0	55	0	41	0	75.6%	*
		常勤	3		30	9							
	松本病院		12.7	55.0%	26.9	19.2	0	46	0	34	0	91.5%	746
		常勤	7		26	18							
		非常勤	5.7		0.9	1.2							

※月別の件数に1件～9件の数値がある場合、「\*」表記

救急告示

救急告示

救急告示

# 11. 医療従事者数〔常勤医師③〕（令和5年度「病床機能報告」）

市町村名	医療機関名	医師数		常勤医師割合	(参考) 看護師数	(参考) 准看護師数	許可病床数					病床稼働率((在棟・在院患者延べ数+退棟・退院患者数)/(許可病床数*365))	救急車受入数(※)
							高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中		
川崎町	医療法人ひまわり会長主病院		1	100.0%	2	16	0	0	0	64	0	26.0%	0
		常勤	1		1	14							
		非常勤	0		1	2							
	医療法人 古川病院		4	25.0%	4.2	8	0	0	0	36	0	91.6%	0
		常勤	1		3	6							
		非常勤	3		1.2	2							
医療法人田中整形外科医院		1.3	77.0%	3.1	23.3	0	19	0	0	0	76.5%	0	
	常勤	1		3	22								
	非常勤	0.3		0.1	1.3								
大任町	医療法人富士見ヶ丘内科循環器科医院		2	100.0%	2	8	0	19	0	0	0	0.0%	0
		常勤	2		2	8							
		非常勤	0		0	0							
福智町	方城療育園		3.3	30.0%	18.6	0	0	0	0	50	0	83.6%	0
		常勤	1		18	0							
		非常勤	2.3		0.6	0							
	田川慈恵病院		8.6	81.0%	54.8	29	0	0	0	48	0	92.5%	0
		常勤	7		54	29							
		非常勤	1.6		0.8	0							
	医療法人赤池協同医院		3	33.0%	4.5	4	0	0	0	19	0	0.0%	0
		常勤	1		4	4							
		非常勤	2		0.5	0							
	医療法人壽仁会方城中央クリニック		2.1	95.0%	0	0	0	0	0	0	7	0.0%	0
常勤		2	0		0								
非常勤		0.1	0		0								

※月別の件数に1件～9件の数値がある場合、「\*」表記

## 12. 医療介護資源の状況 (日医総研ワーキングペーパー(2023年4月第6版))

### ●【地域の概要】

一人当たり医療費(国保):390千円(偏差値54)

一人当たり介護給付費:259千円(偏差値49)

### ●【医療の現状】

病院数:16、人口10万人当たり13.6(偏差値67)

診療所数:107、人口10万人当たり91(偏差値55)

総医師数:390、人口10万人当たり331(偏差値53)

専門医数

小児科:11、人口10万人当たり9.3(偏差値46)

産婦人科:6、人口10万人当たり5.1(偏差値40)

総合内科:16、人口10万人当たり13.6(偏差値40)

看護師数:1,784、人口10万人当たり1,512(偏差値71)

### ●【介護施設や在宅ケアの現状】

高齢者施設・住宅定員数:3,807、75歳以上1,000人当たり168(偏差値96)

(うち、介護保険施設定員:2,409、75歳以上1,000人当たり106(偏差値86)

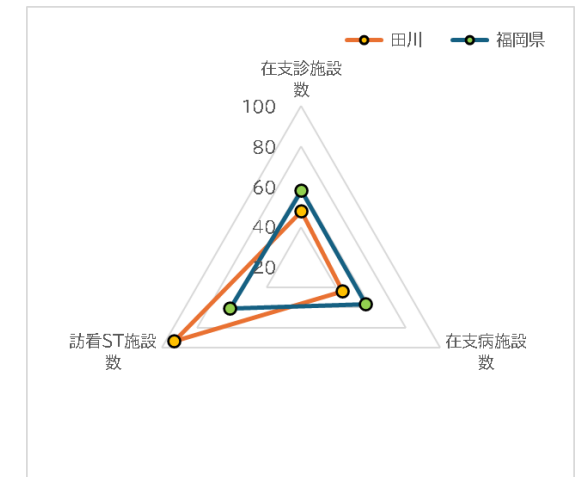
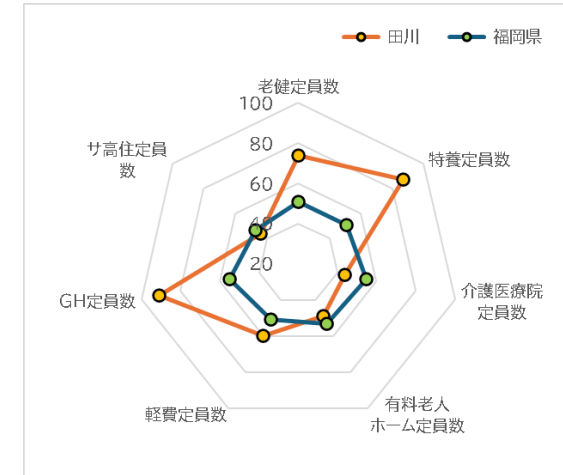
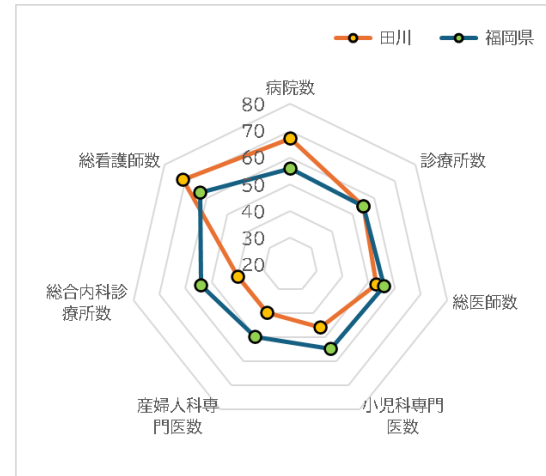
(うち、高齢者住宅定員:1,398、75歳以上1,000人当たり62(偏差値65)

介護職員数:2,600、75歳以上1,000人当たり115(偏差値85)

施設別定員数:老健施設780(偏差値74)、特養1,570(偏差値87)、介護医療院0(偏差値44)

(75歳以上1,000人当たり)有料12.9(偏差値49)、軽費3.5(偏差値60)、GH34.6(偏差値91)、サ高住10.8(偏差値44)

在宅ケア(施設数):在支診17(偏差値48)、在支病1(偏差値44)、訪看ST42(偏差値93)



## 12. 医療介護資源の状況 (厚生労働省「医療施設調査」)

●医療施設数(病院、一般診療所H28→R5推移)(在宅療養支援診療所H26→R5推移)(訪問看護STはH29→R7推移)

医療施設数等	病院	一般診療所		訪問看護ステーション
		在宅療養支援診療所		
福岡県	461 → 453	4,654 → 4,806	866 → 767	493 → 1,086
朝倉	8 → 8	74 → 75	34 → 30	4 → 12
飯塚	22 → 20	167 → 164	20 → 22	20 → 45
直方・鞍手	12 → 12	103 → 100	19 → 18	11 → 25
田川	16 → 16	108 → 113	17 → 17	24 → 47
北九州	102 → 101	1,062 → 1,044	211 → 180	102 → 234
京築	15 → 14	160 → 157	30 → 22	24 → 37

出所:病院、診療所数は厚生労働省「医療施設調査(動態)(平成28年10月1日現在)」、「医療施設調査(静態・動態)(令和5年10月1日現在)」

出所:在宅療養支援診療所数は厚生労働省「医療施設調査(静態・動態)(平成26年、令和5年10月1日現在)」

出所:訪問看護ステーション数は県医療指導課データ

※1 在宅療養支援診療所数は、平成26年4月、令和5年4月現在診療報酬施設基準による

※2 訪問看護ステーションは、平成29年4月1日現在、令和7年7月1日現在の介護保険法に基づく指定数

●小児科標榜医療機関数(H26→R2推移)

	医療機関数			小児人口10万人対 医療機関数
	病院	診療所		
福岡県	361 → 361	96 → 97	265 → 264	53.4 → 55.9
朝倉	8 → 7	2 → 2	6 → 5	75.7 → 67.4
飯塚	14 → 16	5 → 6	9 → 10	62.3 → 73.7
直方・鞍手	10 → 11	3 → 3	7 → 8	74.3 → 86.4
田川	10 → 9	6 → 5	4 → 4	62.7 → 62.5
北九州	71 → 72	24 → 26	47 → 46	52.1 → 65.8
京築	9 → 10	2 → 3	7 → 7	37.3 → 43.4

出所:「医療施設調査」(平成26年、令和2年)

※診療所は、「小児科が主たる診療科」+「小児科単科」。

●市町村別医療施設数(病院、一般診療所H28→R5推移)

	病院数		一般診療所数	
	平成28年	令和5年	平成28年	令和5年
田川市	7 →	7	52 →	52
香春町	- →	-	4 →	7
添田町	1 →	1	12 →	13
糸田町	1 →	1	8 →	9
川崎町	4 →	4	10 →	9
大任町	- →	-	6 →	6
赤村	- →	-	4 →	5
福智町	3 →	3	12 →	12
田川	16 →	16	108 →	113

●分娩取扱医療機関数(H26→R5推移)

医療施設数等	病院	診療所
福岡県	34 → 28	88 → 63
朝倉	0 → 0	1 → 1
飯塚	2 → 2	2 → 2
直方・鞍手	0 → 0	1 → 1
田川	2 → 2	0 → 0
北九州	10 → 8	18 → 9
京築	0 → 0	4 → 3

出所:厚生労働省「医療施設調査(静態・動態)(各年10月1日現在)」(平成26年、令和5年)による

# 13. 医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕（日医総研ワーキングペーパー（2023年4月第6版））

●看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)※令和2年10月

二次医療圏	総看護師数	人口 10万人当たり	病院 看護師数	人口 10万人当たり	診療所 看護師数	人口 10万人当たり
福岡・糸島	20,608	1,204	15,650	915	4,958	290
粕屋	3,095	1,057	2,496	852	599	204
宗像	1,595	972	1,200	731	395	241
筑紫	3,520	801	2,567	584	953	217
朝倉	862	1,054	652	797	210	257
久留米	6,953	1,535	5,552	1,226	1,401	309
八女・筑後	1,831	1,415	1,407	1,087	424	327
有明	3,687	1,742	2,927	1,383	760	359
飯塚	2,903	1,661	2,340	1,340	562	322
直方・鞍手	1,234	1,178	952	909	282	270
田川	1,784	1,512	1,377	1,167	407	345
北九州	16,061	1,500	12,881	1,203	3,179	297
京築	1,912	1,043	1,379	752	533	291
福岡県	66,044	1,286	51,381	1,001	14,663	286
全国	1,164,671	923	918,226	728	246,444	195

出典：厚生労働省「令和2年医療施設静態調査」

・総看護師数の人口10万人当たり人数を見ると、田川区域は、県全体、全国より多い状況となっている

・勤務場所別で見ると、人口10万人当たり病院看護師は、県全体、全国より多い状況となっている

・人口10万人当たり診療所看護師は、県全体、全国より多いという状況である

# 13. 医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕（日医総研ワーキングペーパー（2023年4月第6版））

●介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）※令和4年5月 常勤換算

二次医療圏	介護サービス従事看護師数	75歳以上 1,000人当たり	看護師数 (施設)	75歳以上 1,000人当たり	看護師数 (訪問)	75歳以上 1,000人当たり
福岡・糸島	2,649	14.4	1,415	7.7	1235	6.7
粕屋	557	16.8	445	13.4	112	3.4
宗像	227	9.5	162	6.8	65	2.7
筑紫	498	9.8	269	5.3	228	4.5
朝倉	151	10.8	114	8.2	37	2.6
久留米	796	11.9	416	6.2	380	5.7
八女・筑後	256	11.7	174	8.0	82	3.8
有明	469	11.5	360	8.9	109	2.7
飯塚	370	12.7	255	8.8	115	3.9
直方・鞍手	307	15.6	194	9.8	114	5.8
田川	394	17.4	220	9.7	175	7.7
北九州	1,883	10.5	1,179	6.6	704	3.9
京築	394	12.9	294	9.6	101	3.3
福岡県	8,952	12.5	5,497	7.7	3455	4.8
全国	188,635	10.1	119,762	6.4	68873	3.7

出典：厚生労働省「介護サービス情報公表システム」（令和4年5月）

・介護サービス従事看護師数の75歳以上1,000人当たり人数を見ると、田川区域は、県全体、全国よりも多い状況となっており、福岡県内の全ての医療圏で最も多い

・75歳以上1,000人当たり従事者数を勤務場所別で見ると、介護施設は9.7人と県全体、全国よりも多い状況となっている

・訪問看護は、7.7人と県全体、全国よりも多い状況となっており、福岡県内の全ての医療圏で最も多い

# 13. 医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕（日医総研ワーキングペーパー（2023年4月第6版））

●介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）※令和4年5月 常勤換算

二次医療圏	介護サービス従事 介護職員数	75歳以上 1,000人当たり	介護職員数 (介護施設等)	75歳以上 1,000人当たり	介護職員数 (在宅)	75歳以上 1,000人当たり
福岡・糸島	16,014	87.0	13,038	71.0	2976	16.2
粕屋	2,315	70.0	2,038	62.0	277	8.4
宗像	1,758	74.0	1,559	66.0	199	8.4
筑紫	3,653	72.0	3,131	62.0	523	10.3
朝倉	1282	92.0	1226	88.0	56	4.0
久留米	6,182	93.0	5,517	83.0	665	10.0
八女・筑後	2,199	101.0	1,964	90.0	235	10.8
有明	3,884	96.0	3,376	83.0	508	12.5
飯塚	2,833	97.0	2,361	81.0	472	16.2
直方・鞍手	2,005	102.0	1753	89.0	252	12.8
田川	3,189	141.0	2,600	115.0	588	26.0
北九州	15,195	84.0	12,896	72.0	2299	12.8
京築	2,565	84.0	2,252	73.0	313	10.2
福岡県	63,075	88.0	53,711	75.0	9364	13.1
全国	1,556,622	84.0	1,327,531	71.0	229090	12.3

出典：厚生労働省「介護サービス情報公表システム」（令和4年5月）

・介護サービス従事介護職員数の75歳以上1,000人当たり人数を見ると、田川区域は、県全体、全国よりも多い状況となっており、福岡県内の全ての医療圏で最も多い

・75歳以上1,000人当たり人数を勤務場所別で見ると、介護施設等は115.0人と県全体、全国よりも多い

在宅についても26.0人と県全体、全国よりも多い状況となっており、どちらも福岡県内の全ての医療圏の中で最も多い

# 13. 医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕（「衛生行政報告例」）

## ●就業場所別の看護師数

福岡県	看護師								
	実数	人口10万人 当たり	割合	就業場所別 二次医療圏ごとの就業場所別人数(斜体)は推計値					
				病院	診療所	訪問看護 ステーション	介護保険 施設等	社会福祉 施設	その他
	65,134	1,273.1		47,399	9,078	3,126	3,279	419	1,833
福岡・糸島	20,818	1,202.5	32.0%	15,150	2,901	999	1,048	134	586
粕屋	3,176	1,083.5	4.9%	2,311	443	152	160	20	89
宗像	1,740	1,050.4	2.7%	1,266	243	84	88	11	49
筑紫	3,795	859.9	5.8%	2,762	529	182	191	24	107
朝倉	871	1,079.4	1.3%	634	121	42	44	6	25
久留米	6,885	1,532.0	10.6%	5,010	960	330	347	44	194
八女・筑後	1,794	1,401.8	2.8%	1,306	250	86	90	12	50
有明	3,459	1,684.0	5.3%	2,517	482	166	174	22	97
飯塚	2,521	1,470.8	3.9%	1,835	351	121	127	16	71
直方・鞍手	1,066	1,037.8	1.6%	776	149	51	54	7	30
田川	1,378	1,207.3	2.1%	1,003	192	66	69	9	39
北九州	15,962	1,514.2	24.5%	11,616	2,225	766	804	103	449
京築	1,669	923.2	2.6%	1,215	233	80	84	11	47

・看護師数の人口10万人当たり人数を見ると、田川区域は、県平均よりも若干少ない状況となっている

・田川区域について、就業場所別に見ると、病院が最も多く、次いで診療所、介護保険施設等となっており、病院と診療所で87%を占めている

※二次医療圏ごとの就業場所別の人数(斜体)は、就業場所別の県全体の人数に看護師実数の二次医療圏ごとの割合を掛けて推計したもの

厚生労働省「衛生行政報告例」(2022(令和4)年12月31日現在)

福岡県「人口移動調査」(2022(令和4)年10月1日現在)

# 13. 医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕（「衛生行政報告例」）

## ●就業場所別の准看護師数

福岡県	准看護師								
	実数	人口10万人 当たり	割合	就業場所別 二次医療圏ごとの就業場所別人数(斜体)は推計値					
				病院	診療所	訪問看護 ステーション	介護保険 施設等	社会福祉 施設	その他
	13,995	273.6		5,542	5,445	357	2,211	288	152
福岡・糸島	2,893	167.1	20.7%	1,146	1,126	74	457	60	31
粕屋	662	225.8	4.7%	262	258	17	105	14	7
宗像	337	203.4	2.4%	133	131	9	53	7	4
筑紫	757	171.5	5.4%	300	295	19	120	16	8
朝倉	297	368.1	2.1%	118	116	8	47	6	3
久留米	1,451	322.9	10.4%	575	565	37	229	30	16
八女・筑後	542	423.5	3.9%	215	211	14	86	11	6
有明	1,198	583.2	8.6%	474	466	31	189	25	13
飯塚	786	458.6	5.6%	311	306	20	124	16	9
直方・鞍手	534	519.9	3.8%	211	208	14	84	11	6
田川	807	707.0	5.8%	320	314	21	127	17	9
北九州	3,014	285.9	21.5%	1,194	1,173	77	476	62	33
京築	717	396.6	5.1%	284	279	18	113	15	8

・准看護師数の人口10万人当たり人数を見ると、田川区域は、県平均よりも圧倒的に多い状況となっている

・田川区域について、就業場所別に見ると、病院と診療所がほぼ同数で、次いで介護保険施設等となっており、病院と診療所で79%を占めている

※二次医療圏ごとの就業場所別の人数(斜体)は、就業場所別の県全体の人数に看護師実数の二次医療圏ごとの割合を掛けて推計したものの

厚生労働省「衛生行政報告例」(2022(令和4)年12月31日現在)

福岡県「人口移動調査」(2022(令和4)年10月1日現在)

## 14. 在宅医療の状況

### 福岡県在宅療養支援診療所等調査(高齢者地域包括ケア推進課)

#### 【調査対象】

九州厚生局に在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、在宅時医学総合管理料及び施設入居時等医学総合管理料の届出を行っている施設

#### 【調査時期】

毎年5月～7月頃

#### 【回収状況】

令和5年度回答率94.9%

令和7年度回答率97.0%

#### 【項目の説明】

訪問診療:調査対象月1ヶ月間の訪問診療患者数(医療機関所在地ベース)の実数

小児:調査対象月1ヶ月間の19歳以下の訪問診療患者数(医療機関所在地ベース)の実数

在宅看取り:調査前年度1年間の在宅看取り(施設看取り含む)患者数(医療機関所在地ベース)の実数

# 14. 在宅医療の状況 (高齢者地域包括ケア推進課「福岡県在宅療養支援診療所等調査」)

## ●在宅医療機関数

	R5年度				R7年度				R5年度→R7年度の推移				今後の意向 ※R5年度調査		
	医療機関数	患者数			医療機関数	患者数			医療機関数の増減	患者数			現在より積極的に取り組みたい	現状維持	今後は減らす、または在宅医療から撤退する予定
		訪問診療	小児	在宅看取り		訪問診療	小児	在宅看取り		訪問診療	小児	在宅看取り			
福岡・糸島	401	17,824	210	2,456	423	21,874	333	2,790	22	4,050	123	334	101	193	20
粕屋	50	1,154	0	249	50	1,167	12	192	0	13	12	-57	12	26	4
宗像	32	1,421	27	272	32	1,531	46	228	0	110	19	-44	6	20	1
筑紫	69	2,719	7	408	73	3,675	16	623	4	956	9	215	23	32	5
朝倉	37	571	7	79	36	728	12	97	-1	157	5	18	13	22	2
久留米	160	3,627	48	924	158	4,311	81	923	-2	684	33	-1	31	89	8
八女・筑後	45	779	2	318	45	849	1	243	0	70	-1	-75	8	22	4
有明	73	1,595	1	322	72	1,661	5	280	-1	66	4	-42	17	41	2
飯塚	40	1,715	13	485	43	1,959	23	423	3	244	10	-62	10	22	4
直方・鞍手	35	1,355	0	190	34	1,308	1	249	-1	-47	1	59	6	18	2
田川	28	931	0	74	33	1,296	2	72	5	365	2	-2	6	16	2
北九州	323	9,453	20	1,888	329	12,153	122	2,110	6	2,700	102	222	61	165	25
京築	36	810	4	336	35	1,087	9	314	-1	277	5	-22	2	28	3
総数	1,329	43,954	339	8,001	1,363	53,599	663	8,544	34	9,645	324	543	296	694	82

・田川区域の令和5年度調査による在宅医療への今後の意向は、「現在より積極的に取り組みたい」が6件、「現状維持」が16件、「今後は減らす、または在宅医療から撤退する予定」が2件という結果であり、令和5年度から7年度の推移を見ると、医療機関数は5件増加し、訪問診療患者数も増加している

# 14. 在宅医療の状況 (高齢者地域包括ケア推進課「福岡県在宅療養支援診療所等調査」)

●在宅医療に従事する医師数(R7年度)

	医師数				医師の年齢別											
	常勤	非常勤 (常勤換算)	常勤+常勤 換算数		29歳以下		30~39歳		40~49歳		50~59歳		60~69歳		70歳以上	
福岡・糸島	849	531	89.1	620.1	7	(0.8%)	140	(16.5%)	203	(23.9%)	195	(23.0%)	175	(20.6%)	129	(15.2%)
粕屋	74	60	9.6	69.6	0	(0.0%)	3	(4.1%)	10	(13.5%)	30	(40.5%)	24	(32.4%)	7	(9.5%)
宗像	68	40	6.4	46.4	1	(1.5%)	5	(7.4%)	16	(23.5%)	26	(38.2%)	16	(23.5%)	4	(5.9%)
筑紫	178	100	18.5	118.5	5	(2.8%)	24	(13.5%)	52	(29.2%)	44	(24.7%)	33	(18.5%)	20	(11.2%)
朝倉	80	50	5.6	55.6	2	(2.5%)	13	(16.3%)	22	(27.5%)	11	(13.8%)	16	(20.0%)	16	(20.0%)
久留米	234	188	15.6	203.6	1	(0.4%)	19	(8.1%)	58	(24.8%)	55	(23.5%)	56	(23.9%)	45	(19.2%)
八女・筑後	81	63	13.0	76.0	1	(1.2%)	9	(11.1%)	18	(22.2%)	16	(19.8%)	24	(29.6%)	13	(16.0%)
有明	124	95	9.1	104.1	1	(0.8%)	10	(8.1%)	23	(18.5%)	19	(15.3%)	34	(27.4%)	37	(29.8%)
飯塚	101	56	10.0	66.0	1	(1.0%)	37	(36.6%)	18	(17.8%)	11	(10.9%)	17	(16.8%)	17	(16.8%)
直方・鞍手	46	37	2.7	39.7	0	(0.0%)	7	(15.2%)	9	(19.6%)	9	(19.6%)	12	(26.1%)	9	(19.6%)
田川	50	36	7.6	43.6	0	(0.0%)	4	(8.0%)	7	(14.0%)	16	(32.0%)	11	(22.0%)	12	(24.0%)
北九州	551	362	50.7	412.7	8	(1.5%)	78	(14.2%)	103	(18.7%)	127	(23.0%)	131	(23.8%)	104	(18.9%)
京築	81	48	6.7	54.7	0	(0.0%)	16	(19.8%)	18	(22.2%)	13	(16.0%)	17	(21.0%)	17	(21.0%)
総数	2,517	1,666	244.6	1,910.6	27	(1.1%)	365	(14.5%)	557	(22.1%)	572	(22.7%)	566	(22.5%)	430	(17.1%)

・在宅医療を行う医師の年齢別割合を見ると、田川区域では、「50～59歳」が32.0%で最も高く、次いで「70歳以上」24.0%、「60～69歳」22.0%となっている

・田川区域では、50歳以上の年代層の割合が78.0%とほぼ8割に達しており、今後、老年人口が増えて、在宅医療への需要が高まることが見込まれる中、在宅医療に従事する医師の確保に大きな懸念がある

# 14. 在宅医療の状況 (高齢者地域包括ケア推進課「福岡県在宅療養支援診療所等調査」)

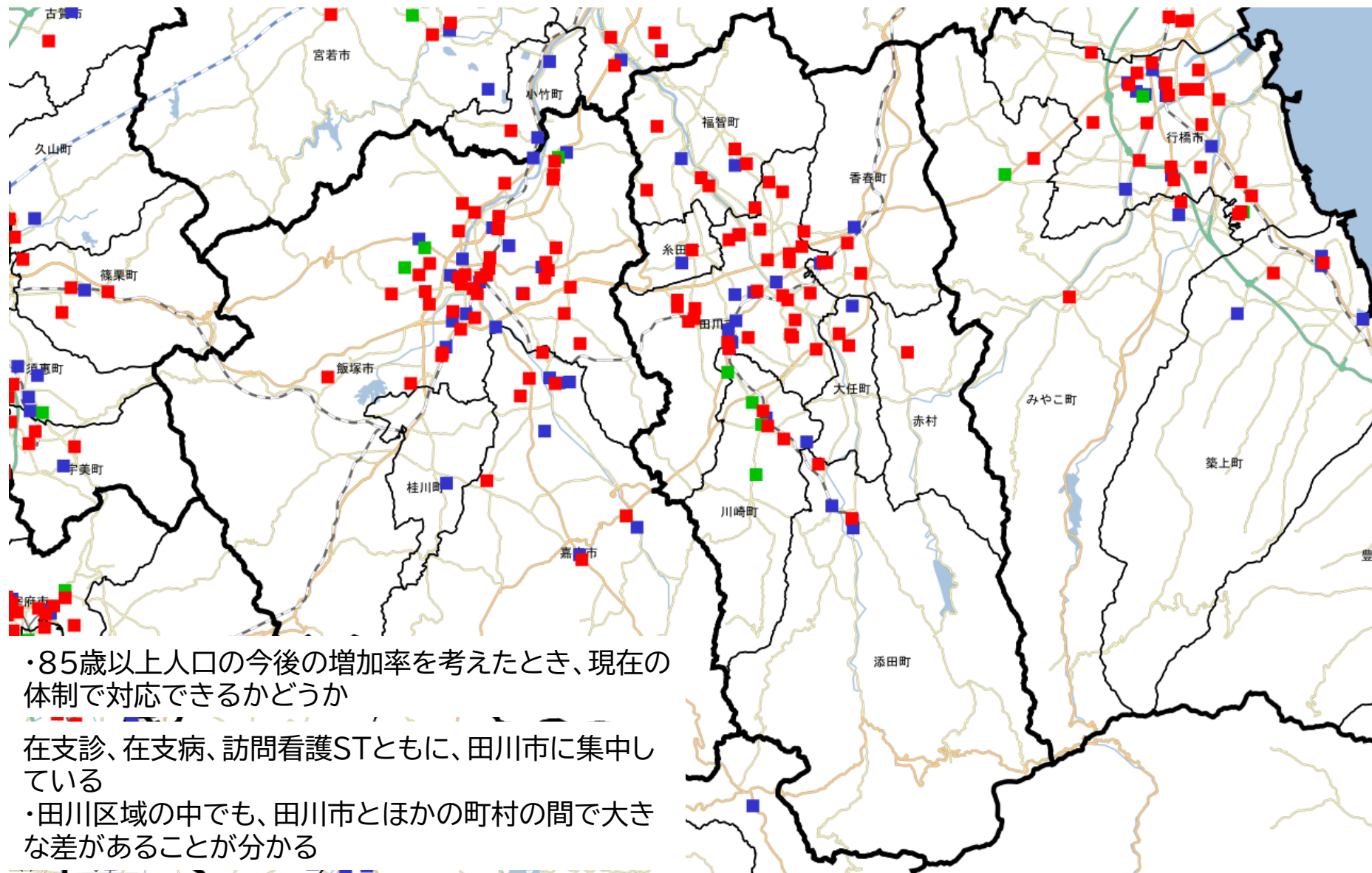
## ●在宅医療機関数(市町村別)

	R5年度				R7年度				R5年度→R7年度の推移			今後の意向 ※R5年度調査			
	医療機関数	患者数			医療機関数	患者数			医療機関数の増減	患者数			現在より積極的に取り組みたい	現状維持	今後は減らす、または在宅医療から撤退する予定
		訪問診療	小児	在宅看取り		訪問診療	小児	在宅看取り		訪問診療	小児	在宅看取り			
田川市	12	487	0	38	11	507	2	31	-1	20	2	-7	2	7	1
香春町	2	235	0	0	3	331	0	18	1	96	0	18	1	1	0
添田町	3	44	0	8	4	78	0	3	1	34	0	-5	0	2	1
糸田町	4	20	0	13	5	189	0	6	1	169	0	-7	0	3	0
川崎町	4	122	0	9	7	179	0	9	3	57	0	0	3	0	0
大任町	1	13	0	2	1	7	0	1	0	-6	0	-1	0	1	0
福智町	2	10	0	4	2	5	0	4	0	-5	0	0	0	2	0
田川	28	931	0	74	33	1,296	2	72	5	365	2	-2	6	16	2

## ●在宅医療に従事する医師数(R7年度)(市町村別)

	医師数				医師の年齢別											
	常勤	非常勤 (常勤換算)	常勤+非常勤 換算数		29歳以下		30~39歳		40~49歳		50~59歳		60~69歳		70歳以上	
田川市	16	10	1.0	11.0	0	(0.0%)	1	(6.3%)	2	(12.5%)	6	(37.5%)	2	(12.5%)	5	(31.3%)
香春町	3	2	0.3	2.3	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(66.7%)	0	(0.0%)	1	(33.3%)
添田町	3	3	0.0	3.0	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(66.7%)	0	(0.0%)	1	(33.3%)
糸田町	4	4	0.0	4.0	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(25.0%)	3	(75.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
川崎町	18	12	6.1	18.1	0	(0.0%)	3	(16.7%)	3	(16.7%)	3	(16.7%)	5	(27.8%)	4	(22.2%)
大任町	2	2	0.0	2.0	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(50.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(50.0%)
福智町	4	3	0.2	3.2	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	4	(100.0%)	0	(0.0%)
田川	50	36	7.6	43.6	0	(0.0%)	4	(8.0%)	7	(14.0%)	16	(32.0%)	11	(22.0%)	12	(24.0%)

# 14. 在宅医療の状況 (在支診、在支病、訪問看護STの位置)



田川区域	在支診 ■	在支病 ■	訪問看護 ST ■
田川市	7	0	25
香春町	2	0	5
添田町	3	0	2
糸田町	1	0	1
川崎町	3	4	4
大任町	1	0	2
赤村	0	0	1
福智町	2	0	7
合計	19	4	47

R7.7.1時点

85歳以上	2020年	2040年	増加率 (20→40)
田川市	2,896	4,150	43.3%
香春町	794	1,190	49.9%
添田町	737	1,017	38.0%
糸田町	623	945	51.7%
川崎町	1,011	1,581	56.4%
大任町	414	682	64.7%
赤村	213	353	65.7%
福智町	1,587	2,502	57.7%
田川計	8,275	12,420	50.1%

・85歳以上人口の今後の増加率を考えたとき、現在の体制で対応できるかどうか

在支診、在支病、訪問看護STともに、田川市に集中している

・田川区域の中でも、田川市とほかの町村の間で大きな差があることが分かる

## 15. 看護職員の状況

### 看護職員確保に係る実態調査(医療指導課医師・看護職員確保対策室)

#### 【調査対象】

(1)施設調査:6,451施設

病院(451)、診療所(4,205)、訪問看護ステーション(984)、介護老人保健施設(173)、介護老人福祉施設(439)、介護医療院(55)、障がい児者施設(施設入所・療養介護)(144)、その他(無回答含む)(48)

(2)看護職員調査:10,208人

上記施設に勤務する看護職員

#### 【調査方法】

対象施設に郵送により依頼し、ふくおか電子申請サービスにて回答

#### 【調査時期】

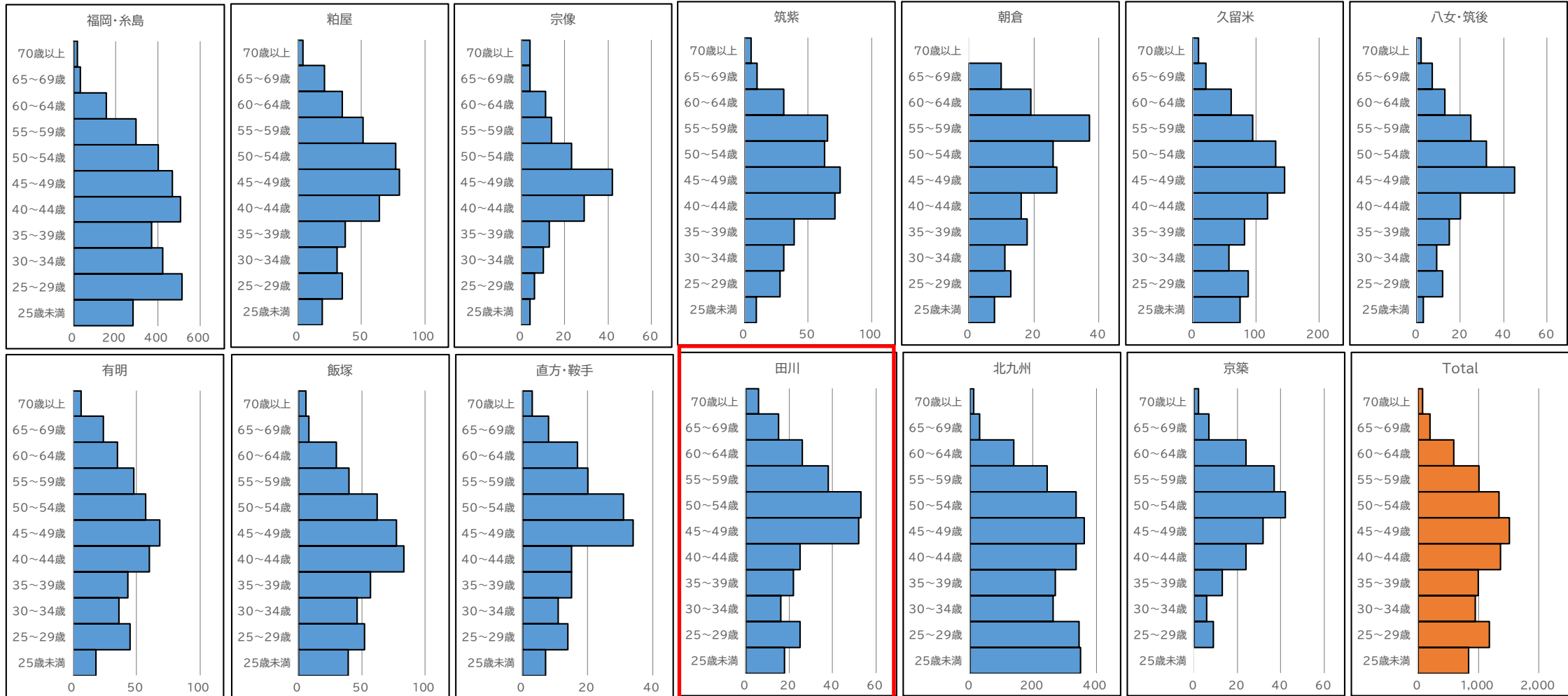
令和6年11月18日(月)～12月13日(金)

#### 【回収状況】

施設2,201件(回収率34.1%)／看護職員回収10,208人

# 15. 看護職員の状況 (医療指導課医師・看護職員確保対策室「看護職員確保に係る実態調査」)

## ●二次医療圏・年齢階級別看護師数



- ・田川区域の年齢構成ピラミッドを見ると、40代後半の層が多い状況になっており、隣接する直方・鞍手区域と同じような傾向となっている
- ・看護師確保の困難さが言及されているなか、このままの年齢構成で10~20年後を考えた際、医療提供体制を維持できるか

# 16. 二次医療圏の人口及び流入流出患者割合・比較表 (厚生労働省「患者調査-二次医療圏編」)

二次医療圏	人口				推計流入患者割合			推計流出患者割合		
	H28.8.1時点	R5.8.1時点	差	(増減割合)	H26調査	R5調査	差	H26調査	R5調査	差
福岡・糸島	1,648,241	1,740,857	92,616	(5.32%)	19.1	21.8	2.7	13.2	12.4	▲ 0.8
粕屋	285,000	292,622	7,622	(2.60%)	44.9	42.1	▲ 2.8	39.1	41.1	2.0
宗像	156,744	165,602	8,858	(5.35%)	35.3	33.5	▲ 1.8	34.7	40.9	6.2
筑紫	434,568	440,919	6,351	(1.44%)	33.5	30.6	▲ 2.9	37.2	40.6	3.4
朝倉	83,209	80,348	▲ 2,861	(▲3.56%)	21.3	22.5	1.2	42.1	30.0	▲ 12.1
久留米	455,840	447,316	▲ 8,524	(▲1.91%)	34.5	31.8	▲ 2.7	23.9	22.8	▲ 1.1
八女・筑後	132,283	127,106	▲ 5,177	(▲4.07%)	25.0	27.3	2.3	29.4	34.9	5.5
有明	220,974	202,644	▲ 18,330	(▲9.05%)	20.0	18.4	▲ 1.6	21.8	18.9	▲ 2.9
飯塚	180,023	170,014	▲ 10,009	(▲5.89%)	21.9	23.5	1.6	26.8	25.9	▲ 0.9
直方・鞍手	108,047	101,892	▲ 6,155	(▲6.04%)	25.0	25.8	0.8	36.5	40.4	3.9
田川	124,830	112,634	▲ 12,196	(▲10.83%)	21.1	27.3	6.2	22.4	28.4	6.0
北九州	1,091,345	1,046,238	▲ 45,107	(▲4.31%)	8.2	9.0	0.8	7.7	7.3	▲ 0.4
京築	184,053	179,800	▲ 4,253	(▲2.37%)	20.3	20.2	▲ 0.1	33.2	28.4	▲ 4.8
福岡県	5,105,157	5,107,992	2,835	(0.06%)	21.5	22.0	0.5	20.4	20.5	0.1

田川区域は、H28年からR5年の7年間に人口が12,196人減少(10.8%減)するなど、他区域の中で人口減少傾向が最も顕著である

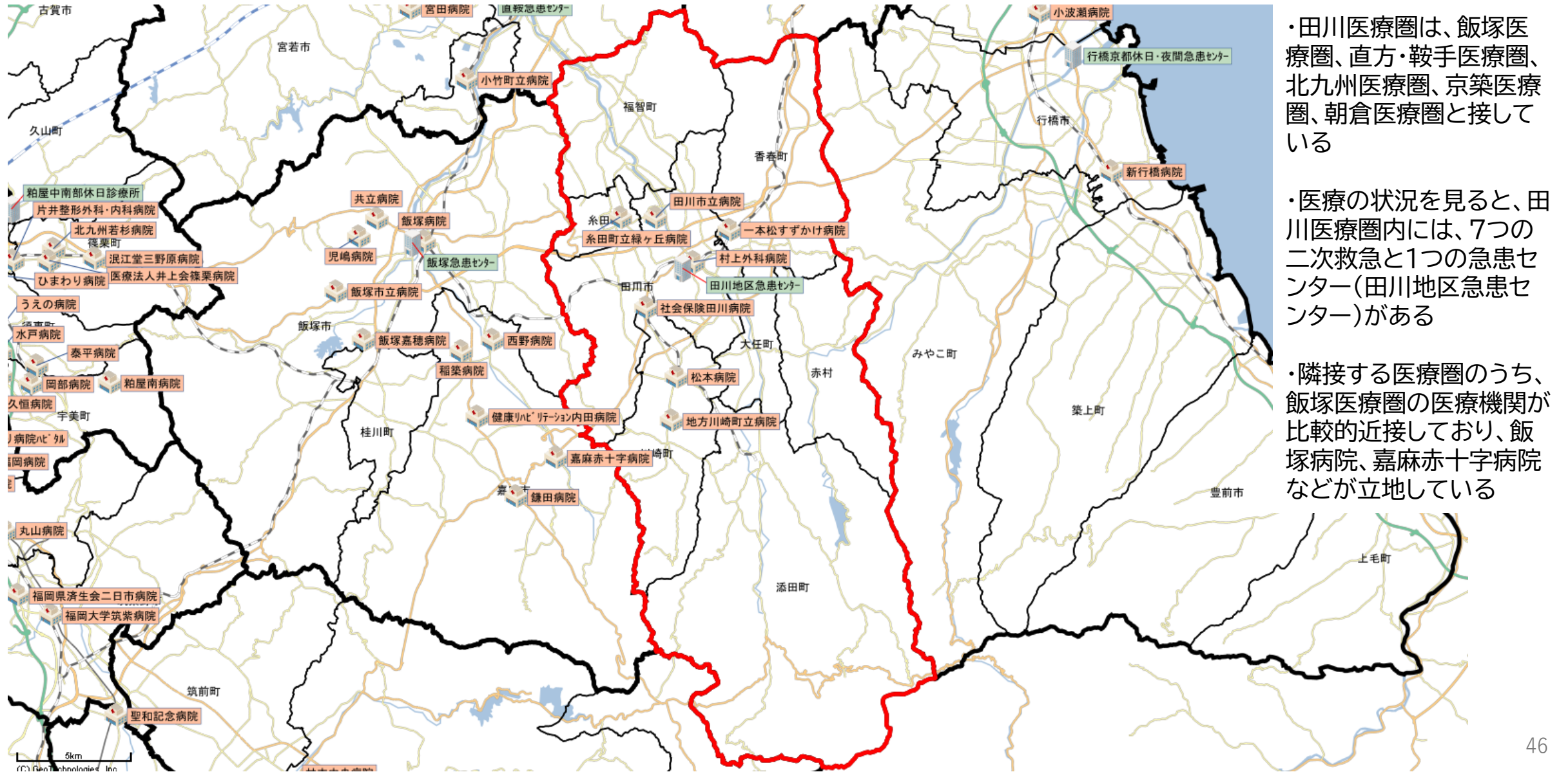
推計流入患者割合の差は、福岡県内の全ての医療圏の中で最も高い割合となっている

※ 人口:福岡県人口移動調査「福岡県の人口と世帯(推計)」(平成28年8月1日現在、令和5年8月1日現在)

※ 推計流入患者割合、推計流出患者割合:厚生労働省「患者調査」(平成26年10月、令和5年10月)

病院の推計入院患者数の圏内への流入患者割合・圏外への流出患者割合、二次医療圏内・二次医療圏外が不詳の者を推計患者数から除いて算出

## 17. 二次救急及び急患センターの位置(隣接区域含む)

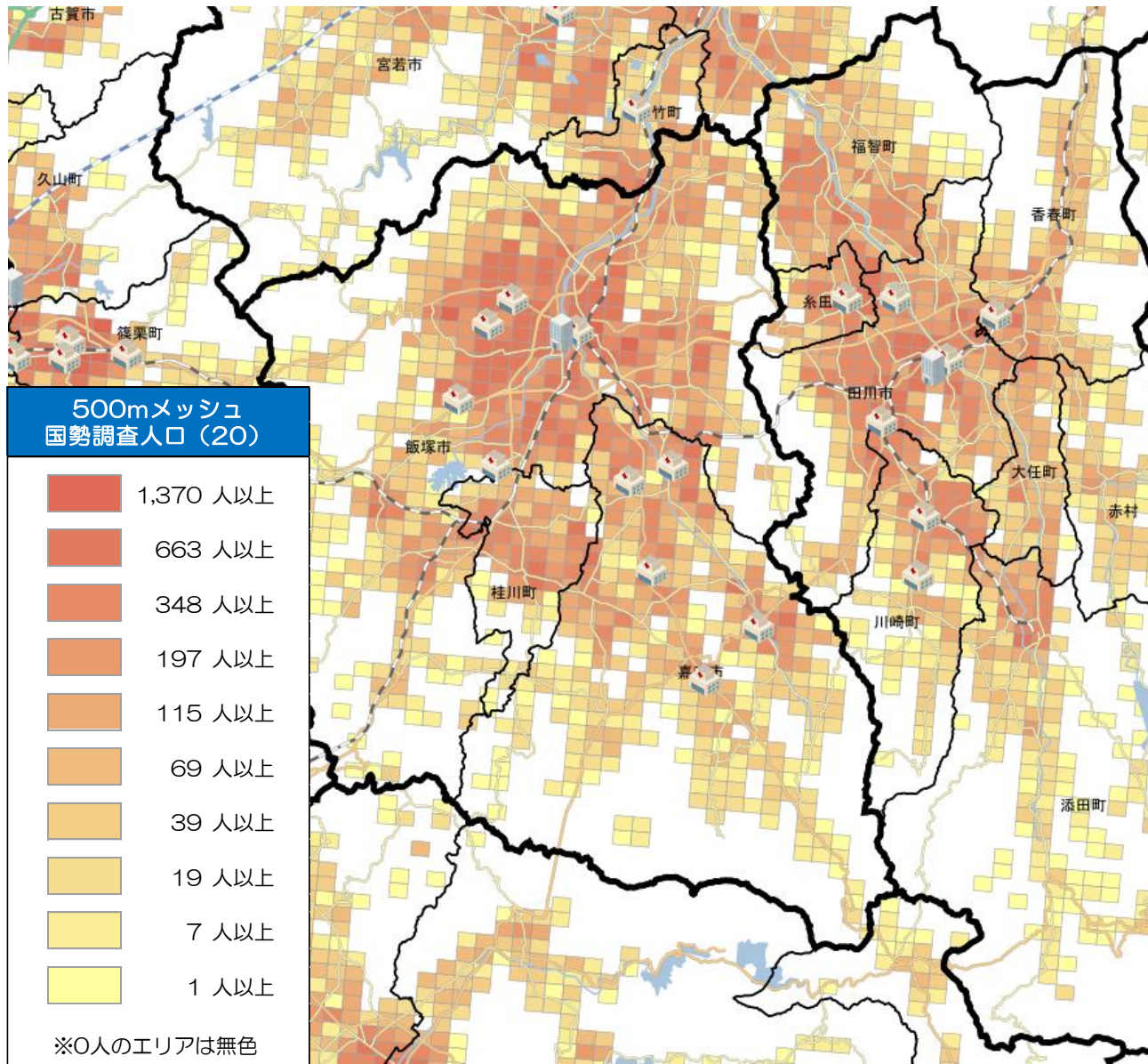


・田川医療圏は、飯塚医療圏、直方・鞍手医療圏、北九州医療圏、京築医療圏、朝倉医療圏と接している

・医療の状況を見ると、田川医療圏内には、7つの二次救急と1つの急患センター(田川地区急患センター)がある

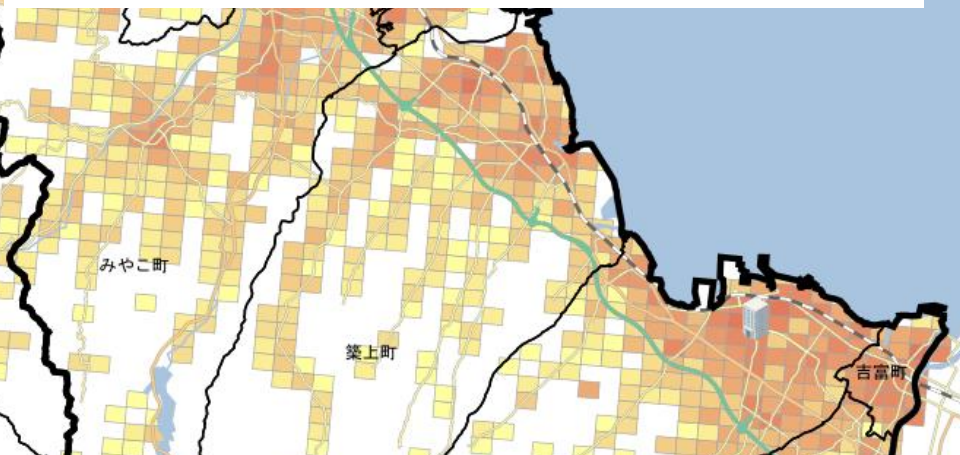
・隣接する医療圏のうち、飯塚医療圏の医療機関が比較的近接しており、飯塚病院、嘉麻赤十字病院などが立地している

# 18. 人口メッシュ(500m) (2020年(令和2年)「国勢調査」)



	内科・外科	小児科	産婦人科	整形外科	耳鼻咽喉科	眼科	泌尿器科	皮膚科	精神科
15分以内	99.08	97.71	89.37	96.65	92.10	93.75	88.24	92.98	95.79
15分-30分	0.78	1.96	9.91	3.06	7.19	5.63	11.27	6.37	3.92
30分以上	0.14	0.33	0.72	0.29	0.71	0.62	0.49	0.65	0.29

参考:アクセシビリティ/田川(福岡県外来医療計画)  
(上記の時間内にアクセス可能な人口のカバー率%)



JR日田彦山線、平成筑豊鉄道沿線など鉄道沿線上(駅付近)に人口が集中し、人口密集地に2次救急病院、急患センターが立地している  
診療科目ごとの医療機関へのアクセシビリティを見ると、30分以内の範囲でカバーできている診療科にはややばらつきがあり、産婦人科は他の診療科よりもカバー率が低い

## 19. 救急搬送の状況① (令和5年「福岡県消防年報」)

	搬送人員 (人)	年齢区分					居住地		
		新生児(人、割合)	乳幼児(人、割合)	少年(人、割合)	成年(人、割合)	高齢者(人、割合)	管内(人、割合)	管外(人、割合)	その他(人、割合)
田川地区消防本部	7,072	7 (0.1%)	230 (3.3%)	193 (2.7%)	1,563 (22.1%)	5,079 (71.8%)	6,713 (94.9%)	354 (5.0%)	5 (0.1%)
福岡県	254,728	687 (0.3%)	10,824 (4.2%)	8,654 (3.4%)	75,536 (29.7%)	159,027 (62.4%)	235,856 (92.6%)	17,854 (7.0%)	1,018 (0.4%)

	初診医診断						軽傷に占める
	死亡(人、割合)	重篤(人、割合)	重症(人、割合)	中等症(人、割合)	軽症(人、割合)	その他(人、割合)	高齢者数(人、割合)
田川地区消防本部	72 (1.0%)	0 (0.0%)	622 (8.8%)	4,281 (60.5%)	2,093 (29.6%)	4 (0.1%)	1,265 (60.4%)
福岡県	1,573 (0.6%)	8 (0.0%)	13,146 (5.2%)	138,915 (54.5%)	100,911 (39.6%)	175 (0.1%)	48,147 (47.7%)

- ・搬送人員を年齢区分別に見ると、田川区域、県ともに高齢者の割合が高いが、田川区域は県を10ポイント近く上回っている  
→ 田川71.8%、県62.4%
- ・症状別では、田川区域は県に比べて「軽症」の割合が低い  
→ 田川29.6%、県39.6%
- ・「軽症に占める高齢者の割合」は、田川区域は県を13ポイント近く上回り、軽症患者の6割が高齢者となっている  
→ 田川60.4%、県47.7%

## 19. 救急搬送の状況② (令和5年「福岡県消防年報」)

	搬送人員 (人)	うち 高齢者 (人)	高齢者の発生場所							
			住宅 (人、割合)	公衆出入の場所(人、割合)			仕事場 (人、割合)	道路 (人、割合)	その他 (人、割合)	
				うち病院・病床数 20以上の医療機関 (人、割合)	うち病床数19以下 の診療所、医院 (人、割合)	うち老人ホーム、老 人保健施設等の老 人の収容施設 (人、割合)				
田川地区消防本部	7,072	5,079	2,998 (59.0%)	1,786 (35.2%)	503 (9.9%)	145 (2.9%)	985 (19.4%)	19 (0.4%)	233 (4.6%)	43 (0.8%)
福岡県	254,728	159,027	98,559 (62.0%)	48,121 (30.3%)	11,316 (7.1%)	4,613 (2.9%)	25,245 (15.9%)	1,237 (0.8%)	10,086 (6.3%)	1,024 (0.6%)

- ・高齢者の救急搬送件数を救急要請の発生場所別に見ると、県全体、田川区域ともに、「住宅」が最も割合が高い  
→田川59.0%、県62.0%
- ・次が「老人ホーム、老人保健施設等の老人の収容施設」であるが、田川区域では「老人ホーム、老人保健施設等の老人の収容施設」の割合が概ね2割に達している

## 19. 救急搬送の状況③ (令和5年「福岡県消防年報」)

	搬送人員 (人)	収容平均所要時間 (分)	搬送決定までの連絡回数				搬送先		
			1回(人、割合)	2回(人、割合)	3回(人、割合)	4回以上(人、割合)	管内(人、割合)	管外(人、割合)	
田川地区消防本部	7,072	47.23	5,195 (73.5%)	911 (12.9%)	409 (5.8%)	557 (7.9%)	432 (77.6%)	5,019 (71.0%)	2,053 (29.0%)
福岡県	246,430	37.91	196,547 (79.8%)	31,515 (12.8%)	12,679 (5.1%)	13,987 (5.7%)	9,051 (64.7%)	201,365 (81.7%)	53,363 (21.7%)

### 【田川地区消防本部の主な搬送先】

搬送先機関名	所在市町村	搬送人員 (人)	総計に占 める割合	うち重症率(%)		
				うち軽症(%)	うち中等症(%)	うち重症(%)
1位 社会保険田川病院	田川市	2,141	30.3%	31.2%	62.7%	5.3%
2位 飯塚病院	飯塚市	1,283	18.1%	12.5%	66.1%	19.9%
3位 田川市立病院	田川市	1,157	16.4%	31.5%	61.0%	6.1%
4位 松本病院	川崎町	667	9.4%	41.4%	48.9%	8.2%
5位 村上外科病院	田川市	468	6.6%	46.4%	50.4%	3.0%
1位～5位の合計		5,716	80.8%	29.5%	60.5%	8.9%
総計		7,072	100.0%	29.6%	60.5%	8.8%

・収容平均所要時間は、県全体が37.9分、田川地区消防本部が47.2分で、県に比べて10分ほど長くなっている

※収容平均所要時間とは、救急事故の覚知から医療機関に収容するまでに要した時間

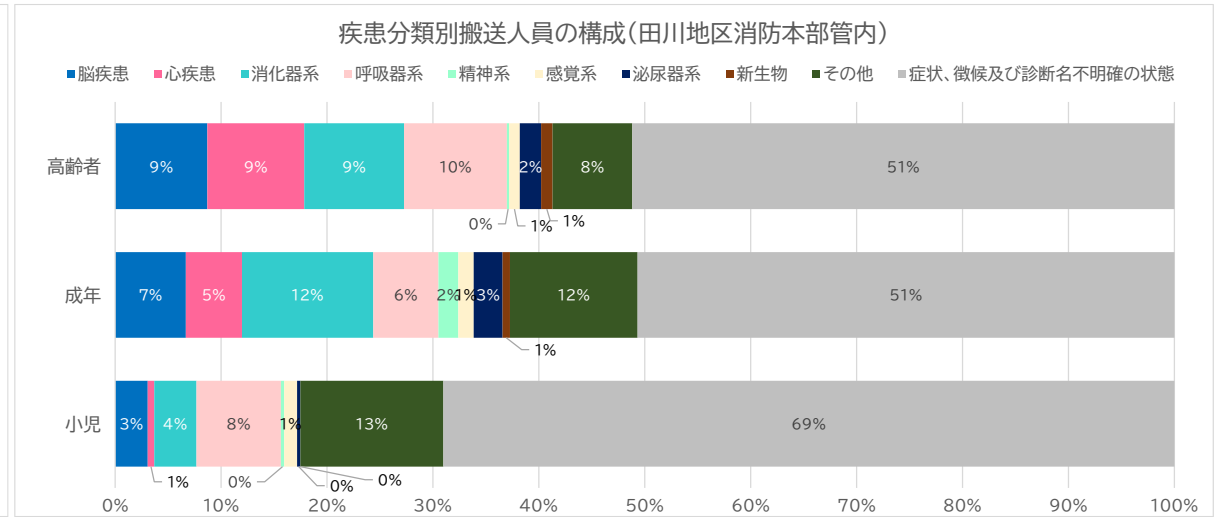
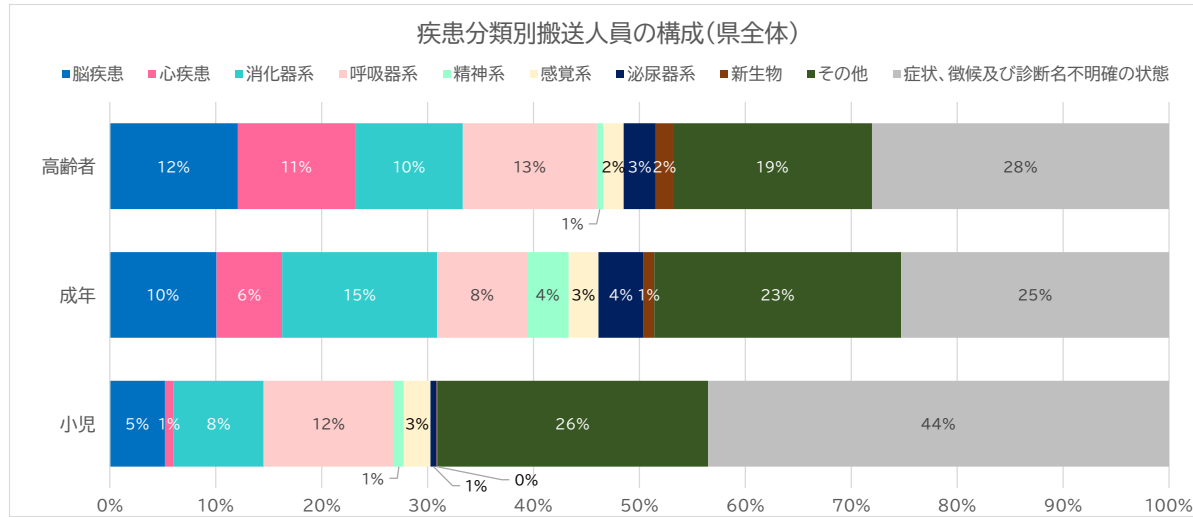
・搬送決定までの連絡回数は、1回が県79.8%、田川地区消防本部が73.5%で、4回以上かかる人数は、県が5.7%、田川地区消防本部が7.9%である

ただし、4回以上かかる人数のうち高齢者の割合は、県よりも田川地区消防本部が10ポイントほど高い

・田川区域消防本部の主な搬送先は、域内の「社会保険田川病院」、「田川市立病院」が46.7%、域外の「飯塚病院」が18.1%である

# 19. 救急搬送の状況④ (令和5年「福岡県消防年報」)

## ● 疾患分類別搬送人員の構成



# 19. 救急搬送の状況⑤ (令和5年「福岡県消防年報」)

● 小児(新生児、乳幼児、少年の計)に係る田川区域内の各消防本部の搬送状況

\* 搬送人員が10人以上の医療機関のうち、上位3位を集計

田川地区消防本部

救急患者:430人(うち 搬送先 管内144人(33.5%)、管外286人(66.5%))

【管内】

	病院名	搬送人員	総計に占める割合
1位	田川市立病院	40人	27.8%
2位	社会保険田川病院	36人	25.0%
3位	村上外科病院	34人	23.6%
管内総計		144人	100.0%

【管外】

	病院名	所在市町村	搬送人員	総計に占める割合
1位	飯塚病院	飯塚市	233人	81.5%
2位	北九州市立八幡病院	北九州市	15人	5.2%
-	-	-	-	-
管外総計			286人	100.0%

【参考】田川地区消防本部

搬送決定までの連絡回数	搬送人員 (割合)
1回	339人 (78.8%)
2回	56人 (13.0%)
3回	17人 (4.0%)
4回以上	18人 (4.2%)

収容平均所要時間 47.45分

【参考】福岡県平均

搬送決定までの連絡回数	搬送人員 (割合)
1回	16,559人 (82.1%)
2回	2,254人 (11.2%)
3回	765人 (3.8%)
4回以上	587人 (2.9%)

収容平均所要時間 37.55分

● 小児に係る田川区域内の医療機関への搬送患者の状況

	病院名	搬送患者数	搬送先			
			1位	2位	3位	
1位	田川市立病院	48人	田川地区消防本部 83.3%	直方市消防本部 10.4%	飯塚地区消防本部 6.3%	
2位	社会保険田川病院	41人	田川地区消防本部 87.8%	飯塚地区消防本部 12.2%	-	-
3位	村上外科病院	34人	田川地区消防本部 100.0%	-	-	-

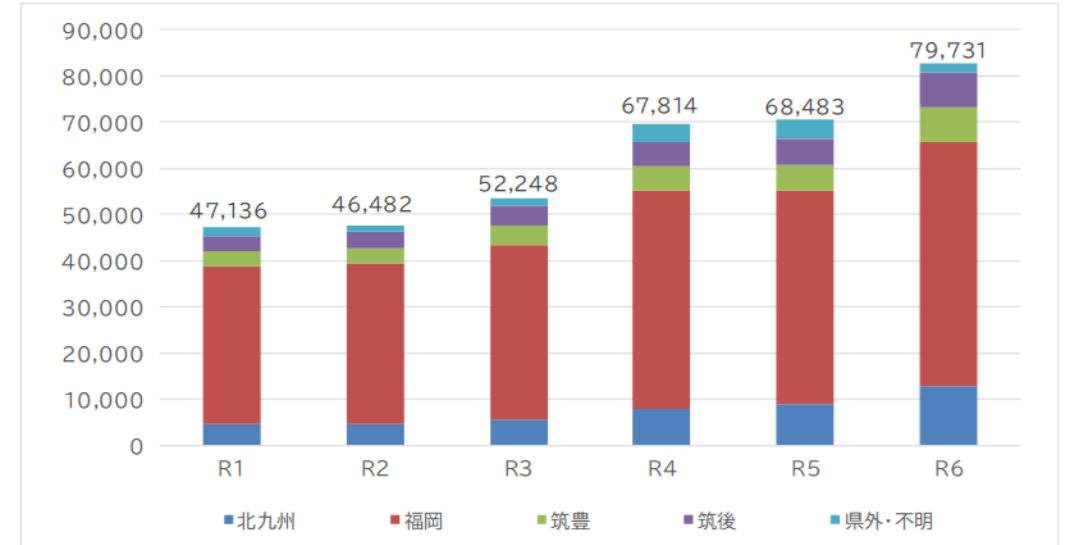
## 20. 救急医療電話相談利用件数

### ●福岡県救急電話相談事業( #7119)市別利用件数

地域別	R1	R2	R3	R4	R5	R6	増加率 (R1→R6)
北九州	4,716	4,473	5,728	7,984	8,731	12,650	168.2%
福岡	33,951	35,026	37,704	47,051	46,369	53,038	56.2%
筑豊	3,341	2,292	2,739	3,688	3,588	4,413	32.1%
筑後	3,354	3,315	4,134	5,334	5,670	7,526	124.4%
県外・不明	1,774	1,376	1,943	3,757	4,125	2,104	18.6%
福岡県計	47,136	46,482	52,248	67,814	68,483	79,731	69.2%

福岡県のR6年度の「#7119」の利用件数は、前年度(R5年度)から1万1,248件増加し、過去最多の7万9,731件となった

筑豊地域のR6年度の「#7119」の利用件数は、前年度(R5年度)から825件増加し、過去最多の4413件となった

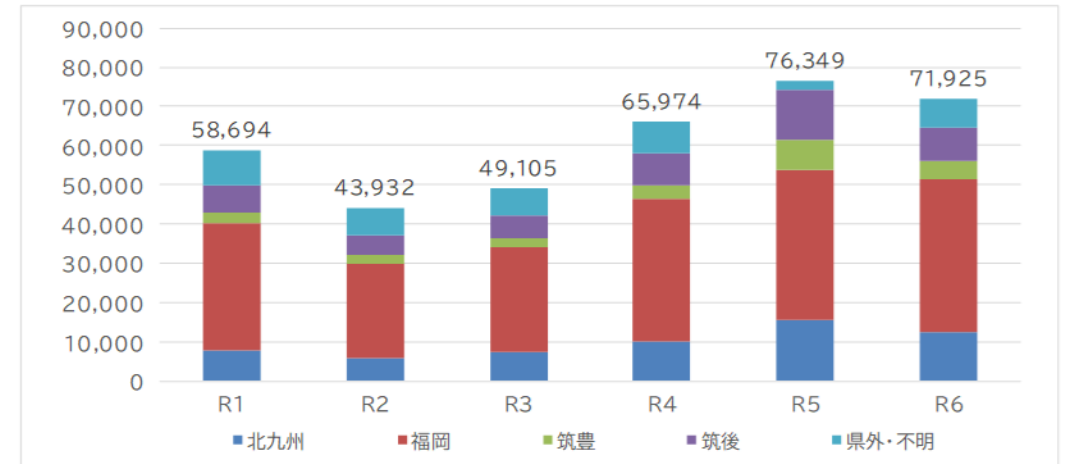


### ●福岡県小児救急医療電話相談( #8000)件数

地域別	R1	R2	R3	R4	R5	R6	増加率 (R1→R6)
北九州	7,615	5,869	7,334	10,265	15,449	12,596	65.4%
福岡	32,539	24,063	26,695	36,142	38,283	38,759	19.1%
筑豊	2,843	2,230	2,472	3,546	7,872	4,544	59.8%
筑後	6,919	4,795	5,651	8,177	12,649	8,656	25.1%
県外・不明	8,778	6,975	6,953	7,844	2,096	7,370	-16.0%
福岡県計	58,694	43,932	49,105	65,974	76,349	71,925	22.5%

福岡県の「#8000」の相談件数はR2年度から増加傾向にあり、過去最多は前年度(R5年度)の7万6,349件である

筑豊地域の「#8000」の相談件数はR2年度から増加傾向にあり、過去最多は前年度(R5年度)の7,872件で、R6年度は4,544件となった



\* 地域別の件数は相談者居住地による相談件数

## 21. MDC(主要診断群分類)別割合(手術あり) (令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」(R5.4月～R6.3月))

Major Diagnostic Category : WHOが制定しているICD-10分類「疾病及び関連保健問題の国際統計分類第10回修正」に基づく18の主要診断群のこと

神経系 (01)	: 社会保険田川病院 (66.7%)、松本病院 (33.3%)
眼科系 (02)	: (地独)川崎町立病院 (47.7%)、松本病院 (19.8%)、田川市立病院 (19.3%)
耳鼻科系 (03)	: 社会保険田川病院 (100.0%)
呼吸器系 (04)	: —
循環器系 (05)	: 田川市立病院 (100.0%)
消化器系 (06)	: 社会保険田川病院 (56.6%)、田川市立病院 (41.5%)
筋骨格系 (07)	: 社会保険田川病院 (34.2%)、田川市立病院 (34.2%)、松本病院 (31.7%)
皮膚系 (08)	: 田川市立病院 (55.6%)、社会保険田川病院 (44.4%)
乳房系 (09)	: 社会保険田川病院 (82.2%)、田川市立病院 (17.8%)
内分泌系 (10)	: —
腎尿路系 (11)	: 田川市立病院 (82.7%)、社会保険田川病院 (17.3%)
女性系 (12)	: 社会保険田川病院 (73.5%)、田川市立病院 (26.5%)
血液系 (13)	: —
新生児系 (14)	: —
小児系 (15)	: —
外傷系 (16)	: 社会保険田川病院 (55.0%)、田川市立病院 (40.1%)
精神系 (17)	: —
その他 (18)	: 社会保険田川病院 (50.9%)、田川市立病院 (49.1%)

## 21. MDC(主要診断群分類)別割合(手術なし) (令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」(R5.4月～R6.3月))

Major Diagnostic Category : WHOが制定しているICD-10分類「疾病及び関連保健問題の国際統計分類第10回修正」に基づく18の主要診断群のこと

神経系 (01)	: 社会保険田川病院 (48.3%)、松本病院 (45.0%)、田川市立病院 (6.7%)
眼科系 (02)	: —
耳鼻科系 (03)	: 社会保険田川病院 (54.9%)、田川市立病院 (30.1%)、松本病院 (15.0%)
呼吸器系 (04)	: 社会保険田川病院 (50.6%)、田川市立病院 (39.1%)、(地独)川崎町立病院 (6.1%)
循環器系 (05)	: 田川市立病院 (74.2%)、社会保険田川病院 (16.4%)、(地独)川崎町立病院 (6.7%)
消化器系 (06)	: 社会保険田川病院 (52.7%)、田川市立病院 (40.0%)、松本病院 (5.5%)
筋骨格系 (07)	: 田川市立病院 (40.0%)、松本病院 (31.4%)、社会保険田川病院 (28.6%)
皮膚系 (08)	: 田川市立病院 (80.0%)、社会保険田川病院 (20.0%)
乳房系 (09)	: 社会保険田川病院 (67.6%)、田川市立病院 (32.4%)
内分泌系 (10)	: 田川市立病院 (55.1%)、松本病院 (23.2%)、社会保険田川病院 (15.1%)
腎尿路系 (11)	: 田川市立病院 (73.8%)、社会保険田川病院 (23.1%)
女性系 (12)	: 社会保険田川病院 (64.7%)、田川市立病院 (35.3%)
血液系 (13)	: 田川市立病院 (59.3%)、社会保険田川病院 (40.7%)
新生児系 (14)	: 社会保険田川病院 (72.1%)、田川市立病院 (27.9%)
小児系 (15)	: —
外傷系 (16)	: 田川市立病院 (41.1%)、社会保険田川病院 (36.5%)、松本病院 (22.5%)
精神系 (17)	: —
その他 (18)	: 田川市立病院 (100%)